Web Caster W100

取扱説明書

このたびは、Web Caster W100 をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

● ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
● お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

マーク	説明
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

厳守事項

■ID とパスワードの取り扱いについて

ユーザーID とパスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。

■取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことを推奨します。

当社ホームページ:
［NTT 東日本］http://web116.jp/ced/
［NTT 西日本］http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

本商品は、「外国為替及び外国貿易法」が定める規制対象貨物に該当いたします。
本商品を日本国外に持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

ご使用にあたって

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

【廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項】
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますのでご注意ください。また、機能向上のため画面は予告なく変更される場合があります。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista® は米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 professional operating system の略です。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
Windows Vista® は、Microsoft® Windows Vista® Home Basic operating system、Microsoft® Windows Vista® Home Premium operating system、Microsoft® Windows Vista® Business operating system および Microsoft® Windows Vista® Ultimate operating system の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版の略です。
Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。
® マークおよび ™ 表記については本文中に明記しません。

⚠ 警　告

設置場所

- **風呂、シャワー室への設置禁止**
  風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
  漏電して、火災・感電の原因となります。

- **水のかかる場所への設置禁止**
  水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
  漏電して、火災・感電の原因となります。

- **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。**

- **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。**
  - 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
  - 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
  - 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
  - ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
  - 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

- **本商品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置かないでください。**
  本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。

⚠警　告

こんなときは

● **発煙した場合**
万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● **水が装置内部に入った場合**
万一、本商品やケーブルの内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

● **異物が装置内部に入った場合**
本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● **電源アダプタの取り扱い注意**
付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。

● **電源アダプタの設置の注意**
電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。
また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。
電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

● **電源コードが傷んだ場合**
電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

警　告

● **電源コードの取り扱い注意**
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

● **延長コード**
電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

● **破損した場合**
万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

● **異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている場合**
本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

禁止事項

● **たこ足配線の禁止**
本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

● **商用電源以外の使用禁止**
AC100 V ± 10 V（50/60 Hz）の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が 2 つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

● **本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**

⚠警　告

● **分解・改造の禁止**
本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。キャビネットを開けられた場合は、本商品の保証対象外といたします。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

● **ぬらすことの禁止**
本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブルに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。

● **ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブルを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意

● **異物を入れないための注意**
本商品やケーブルの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● **航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。**

● **本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。**

● **本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。**

⚠ 注　意

設置場所

- **火気のそばへの設置禁止**
  本商品やケーブルや電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- **温度の高い場所への設置禁止**
  直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40 ℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

- **温度の低い場所への設置禁止**
  本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

- **湿度の高い場所への設置禁止**
  風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度 85%以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

- **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
  調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- **不安定な場所への設置禁止**
  ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
  また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- **本商品を逆さまに置かないでください。**

- **通風孔をふさぐことの禁止**
  本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
  • 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  • じゅうたんや布団の上に置く
  • テーブルクロスなどを掛ける
  • 毛布や布団をかぶせる

⚠注　意

● **重ね置きの禁止**
本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**

● **屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。**

● **塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。**

禁止事項

● **乗ることの禁止**
本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

● **高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。**
社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

電源

● **プラグの取り扱い注意**
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

⚠注　意

● **電源アダプタ（電源プラグ）の清掃**
電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に１回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

● **長期不在時の注意**
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。

● **機器の電源の入れ直しは、10 秒間以上おいてから行ってください。本商品が正常に動作しない場合があります。**

その他のご注意

● **移動させるときの注意**
移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **雷のときの注意**
落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。
落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

設置場所

- **本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。**
  - ほこりや振動が多い場所
  - 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - 特定無線局や移動通信体のある屋内
  - 盗難防止装置など 2.4 GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内
  - 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- **本商品は、縦置きの場合はスタンドを取り付けて設置してください。**
  転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。
- **本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)**
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- **本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m 以上離してお使いください。**
- **本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。**
- **本商品の隙間から虫(ゴキブリなど)が入ると、故障の原因となることがあります。**
  - 厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

STOP お願い

禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を廃棄（または譲渡、返却など）される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

無線 LAN に関する注意事項

- 最大 54 Mbps（規格値）や最大 11 Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など）により大きく変動します。
- IEEE802.11aの屋外での使用は電波法により禁止されています。

電波に関するご注意

無線 LAN 機器の電波に関するご注意

本商品を IEEE802.11b、IEEE802.11g で利用時は、2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、本書の裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

本商品を IEEE802.11a で利用時は、5.2GHz/5.3GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。

- **本商品は、日本国内でのみ使用できます。**
- **次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。**
  - 強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
  - 金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
  - 異なる階の部屋どうし
- **本商品と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。**
- **本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **本商品を　5.2GHz/5.3GHz　帯で使用する場合、屋外で使用しないでください。法令により 5.2GHz/5.3GHz 無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ 5.2GHz/5.3GHz 帯の電波を無効にしてください。**

IEEE802.11b/g		
IEEE802.11a		
J52	W52	W53

W52：使用可能なチャンネルは、36/40/44/48ch です。
W53：使用可能なチャンネルは、52/56/60/64ch です。

※電波法により、W52,W53は屋外使用禁止です。

- **本商品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。**
  - 本商品を分解／改造すること
- **本商品は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。**
- **本商品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。**

本商品に表示した［2.4 DS/OF 4 ▬ ▬ ▬］は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
▬ ▬ ▬	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。
したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、本書の裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。
当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

4　本商品の初期設定 （リピータモード）............. 65

5　本商品の設定画面.. 93

6　本商品の各種設定... 145

1 はじめに

おもな特長

本商品のおもな特長は次のとおりです。

IEEE802.11a/b/g 対応

伝送方式として、IEEE802.11a 5.2 ～ 5.3GHz OFDM 方式、IEEE802.11g 2.4GHz OFDM 方式、IEEE802.11b 2.4GHz DS-SS 方式を採用。IEEE802.11a や IEEE802.11g、IEEE802.11b 規格に対応した無線機器との間でデータ通信ができます。（IEEE802.11a と IEEE802.11g/b は、同時使用可能です）

AOSS 機能

バッファロー社が開発した AOSS（AirStation One-Touch Secure System）機能を搭載。ワンタッチで無線機器同士の接続と暗号化を自動的に行うことができます。

セキュリティ機能

本商品は、以下のセキュリティ機能を搭載しています。

- AOSS
- WPA-PSK(TKIP/AES)
- WPA2-PSK(TKIP/AES)
- WEP（128/64bit）
- プライバシーセパレータ
- Mac アクセス制限機能
- ANY 接続拒否 /SSID ステルス機能
- 設定画面パスワード
- 無線送信出力制限
- 簡易ルールによるファイアウォール機能

電波混雑防止機能

周囲にある無線機器の使用状況を見て、使用されていないチャンネルを自動的に本商品に割り当てる電波混雑防止機能を搭載。電波干渉の発生を防ぎます。

フレームバースト機能

無線 LAN パケットを連続して送信することにより、ネットワーク利用の効率を高め、無線 LAN の実効速度を向上させる「フレームバースト機能」や「フレームバースト EX 機能」を搭載しています。

ローミング機能

無線親機の切り替えを自動的に行うローミング機能を搭載。複数の無線親機を設置して、広い範囲で無線 LAN を利用することができます。

リピータ機能

障害物を回避して、電波の届かない死角エリアへ無線 LAN 通信を中継するリピータ機能を搭載しています。

100BASE-TX/10BASE-T 対応スイッチングハブを搭載

背面に 100BASE-TX/10BASE-T に対応したスイッチングハブを搭載しているため、パソコンやネットワーク機器を接続することができます。

初期化スイッチ

底面の INIT スイッチを押すことで、本商品の設定を出荷時の設定に戻すことができます。

Web ブラウザによる設定画面

パソコンの Web ブラウザを使って、本商品の設定を容易に行うことができます。

フレッツ 光ネクスト、B フレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・ADSL に対応

回線終端装置やひかり電話対応ルータ、加入者網終端装置、ADSL モデムなどと接続して、フレッツ光ネクスト、B フレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・ADSL によるインターネットサービスを利用できます。

動作モードを切り替えて使用可能

本商品は、ルータモード、ブリッジモード、リピータモードの 3 つの動作モードに対応しているため、環境に応じて、切り替えて使用することができます。
（出荷時はルータモードに設定されています）

※各モードについての詳細は、「本商品の動作モード」(P29) をご参照ください。

動作環境

本商品の動作環境は次のとおりです。

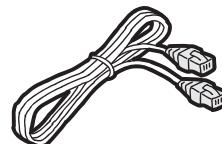
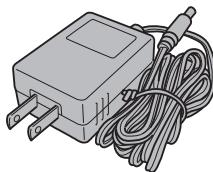
対応 OS

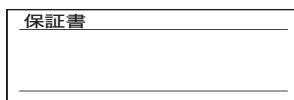
Windows Vista(32bit)/XP(32bit)/2000、Mac OS Ｘ
※ Windows Vista は、Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate に対応しています。

対応ブラウザ

Internet Explorer 6.0 以降
Safari 3.0 以降（Mac OS Ｘのみ）

パッケージ内容

設置を始める前に、パッケージ内容がすべて揃っていることを確認してください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

無線親機（Web Caster W100）本体 .. 1 台

縦置き用スタンド.............................. 1 個

アンテナ .... 1 本

LAN ケーブル（ストレート）.............. 1 本

AC アダプタ .... 1 個

NTT

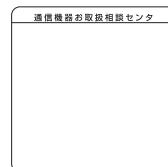
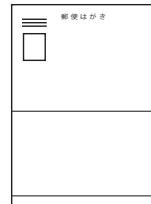
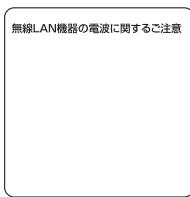
Web Caster W100
取扱説明書

このたびは、Web Caster W100をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

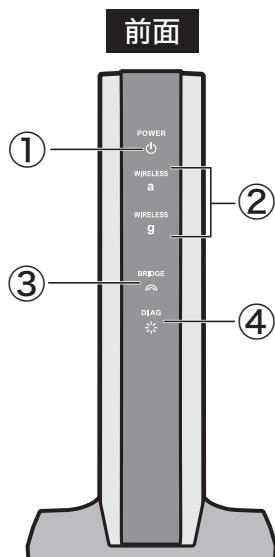
- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

取扱説明書（本書）.............................. 1 冊

保証書

保証書... 1 枚

通信機器お取扱相談センタシール .... 1 枚

無線注意ラベル................................ 1 枚　　アンケートはがき.............................. 1 枚

ワンポイント

- 別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。
- 本商品は、GPL の適用ソフトウェアを使用しており、本商品を購入された方は、これらのソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。詳細は、以下のホームページをご覧ください。

  ［NTT 東日本］http://web116.jp/ced/
  ［NTT 西日本］http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

各部の名称とはたらき

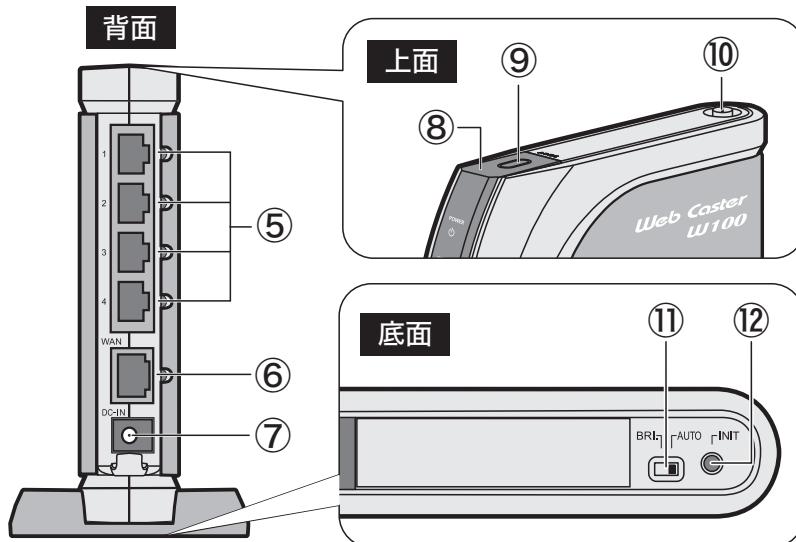
① POWER ランプ（緑）　電源 ON 時に点灯（緑）します。

② WIRELESS ランプ（緑）　点灯：無線 LAN 動作時　点滅：無線 LAN 通信時

a ランプ .... IEEE802.11a の無線の状態を示します。
g ランプ .... IEEE802.11g/b の無線の状態を示します。

③ BRIDGE ランプ（緑）

点灯　　：ブリッジモード動作時、
　　　　　リピータモード動作時で無線親機と接続済み
2 回点滅　：リピータモード動作時で、無線親機との AOSS 接続設定中
消灯　　：ルータモード動作時、
　　　　　リピータモード動作時で無線親機と未接続

④ DIAG ランプ（赤）　点滅回数により本商品の状態を示します。

※本商品の電源を投入した際にも、しばらく点灯します。

ランプ状態	内容	状態
2 回点滅※ 1	フラッシュ ROM 異常	フラッシュメモリの読み書きができません。
3 回点滅※ 1	有線 LAN 異常	有線 LAN コントローラが故障しています。
4 回点滅※ 1	無線 LAN 異常	無線 LAN コントローラが故障しています。

5 回点滅	IP アドレス 設定異常	WAN ポートと LAN ポートのネットワークアドレスが同じのため通信できません。本商品の LAN 側 IP アドレスの設定を変更してください。
連続点滅※2	ファーム ウェア 更新中 設定保存中	ファームウェアを更新しています。 設定を保存しています。

※1　一度、AC アダプタをコンセントから抜いて、しばらくしてから再度差し込んでください。再びランプが点滅している場合は、故障受付にご連絡ください。

※2　ファームウェア更新中と設定保存中は、絶対に AC アダプタをコンセントから抜かないでください。本商品が故障する恐れがあります。

⑤ LAN ポート / ランプ（緑）　パソコン等を接続します。10M/100M 対応スイッチングハブです。
点灯：各 LAN ポートのリンク時　点滅：各 LAN ポートの通信時

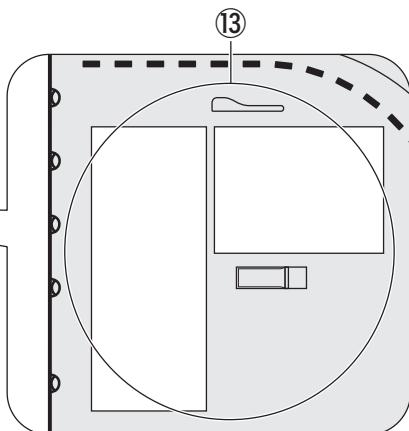
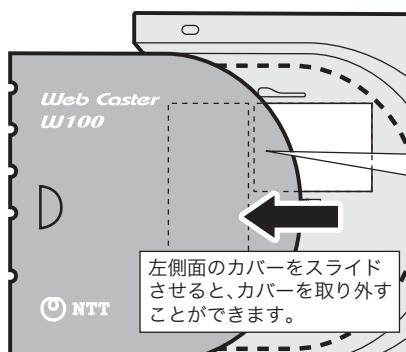
⑥ WAN ポート / ランプ（緑）　回線終端装置、ひかり電話対応ルータ、加入者網終端装置、ADSL モデムを接続します。
10M/100M 対応です。
点灯：WAN ポートリンク時　点滅：WAN ポート通信時
※ブリッジモード / リピータモード時は、LAN ポートと合わせて 5 ポートのスイッチングハブとして使用できます。

⑦ DC コネクタ　付属の AC アダプタを接続します。

⑧ AOSS ランプ（橙）
消灯　：AOSS 設定をしていない／暗号を設定していない
点灯　：セキュリティキー交換処理に成功（AOSS 成功）/ 手動で暗号を設定している
２回点滅　：セキュリティキー交換処理を行える状態（AOSS 待機中）
点滅　：セキュリティキー交換処理に失敗（AOSS 失敗）
※本商品のAOSSランプが点灯しているときは、暗号化キーが設定されています。AOSS にて設定された暗号化キーは、「AOSS 接続で設定した暗号を確認する」(P145) を参照して確認してください。

⑨ AOSS ボタン　本商品の電源を入れた状態で、AOSS ランプが点滅するまで（約 3 秒間）スイッチを押すと、本商品がセキュリティキー交換処理を行える状態（AOSS 動作状態）になります。

⑩アンテナコネクタ　付属のアンテナを接続します。

⑪動作モード切替スイッチ	本商品の動作モードを切り替えます。 AUTO　：PPPoE/DHCP クライアント自動切替（ルータモード） BRI.　：ブリッジモード **※ リピータモードへの切り替えは、本商品の設定画面（P75）からのみ行えます。** **※ 動作モード切替スイッチでモードを切り替える場合は、あらかじめ本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。**
⑫設定初期化スイッチ（INIT）	本商品の電源を入れた状態で、DIAG ランプが点灯するまで（約 3 秒間）スイッチを押し続けると、本商品の設定が初期化されます。

⑬出荷時設定一覧	本商品の出荷時設定値（SSID や IP アドレスなど）が記載されています。

使用環境の確認

本商品の設置を行う前に、以下の事項をご確認ください。

■ プロバイダ契約および工事は完了していますか？

プロバイダへの加入およびフレッツ 光ネクスト、B フレッツ、フレッツ･光プレミアム、フレッツ･ADSL などの接続サービスに加入し、工事が完了していないと、インターネットに接続できません。
サービスへの加入や工事が完了しているか、あらかじめご確認ください。

■ 回線終端装置、ひかり電話対応ルータ、加入者網終端装置、ADSL モデムなどの機器はそろっていますか？

インターネットに接続するには、回線に応じた機器（回線終端装置 / ひかり電話対応ルータ / 加入者網終端装置、ADSL モデムなど）が必要です。これらの機器が設置され、配線が完了していることを確認してください。設置 / 配線については、各機器の取扱説明書を参照するか、ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

■ ユーザ名やパスワードなどの情報はそろっていますか？

本商品の初期設定を行う際に、プロバイダから通知されたユーザ名やパスワードなどの情報が必要になる場合があります。それらの情報はプロバイダとの契約書類に記載されていますので、本商品の初期設定を行う前にご準備ください。

設定に必要な情報の例：
- 接続先ユーザ名
- 接続先パスワード
- DNS（ネーム）サーバアドレス

■ パソコンの準備は完了していますか？

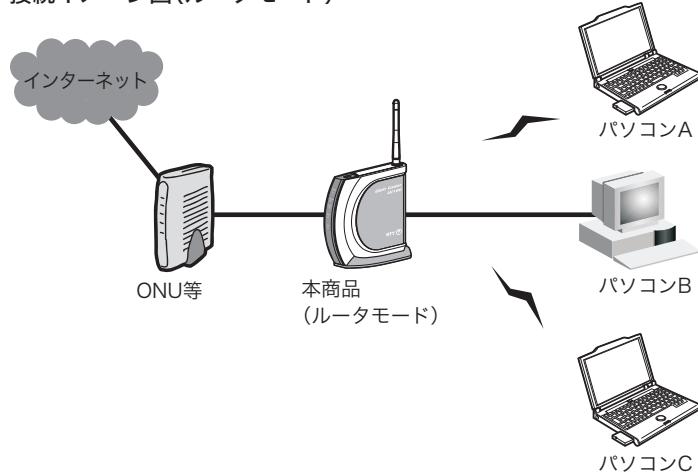
本商品に LAN ケーブルをつないでインターネットに接続する場合は、パソコンに LAN 端子があるかご確認ください。LAN 端子がない場合は、LAN アダプタを増設してください。
本商品とパソコンを無線でつないでインターネットに接続する場合は、パソコン本体の無線機能を有効にするか、無線子機を増設してください。

ワンポイント

LAN アダプタや無線子機の増設方法やパソコン本体の無線機能を有効にする方法については、各機器の取扱説明書を参照してください。

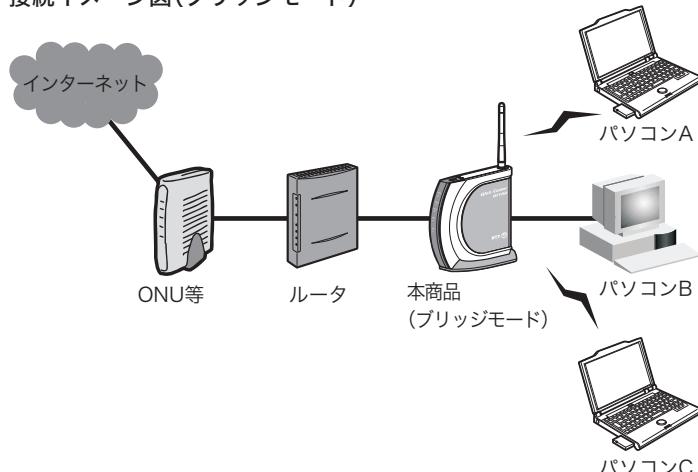
本商品の動作モード

本商品には、「ルータモード」、「ブリッジモード」、「リピータモード」の３つの動作モードがあります。本商品をご使用になる環境にあわせて、動作モードを設定してください。

お知らせ

本商品は、出荷時は「ルータモード」に設定されています。

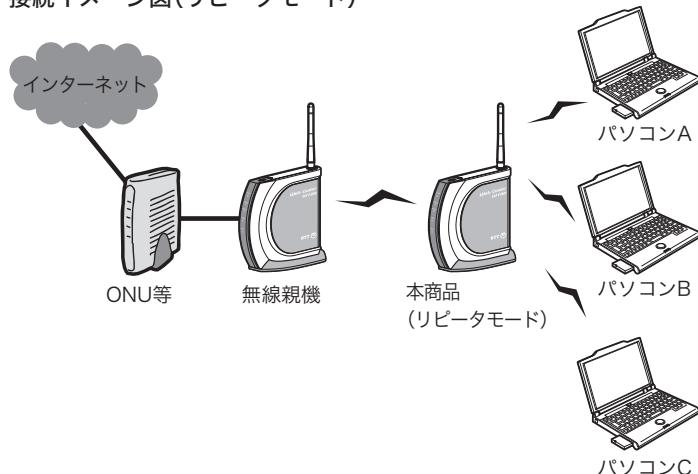
ルータモード

複数の機器からインターネットに接続する場合など、インターネット接続を共有する場合は、ルータモードに設定します。
本商品では、PPPoE 機能が実装されているため、フレッツ接続ツールなどのソフトウェアをインストールしなくても各機器からインターネットに接続できます。

接続イメージ図（ルータモード）

お知らせ

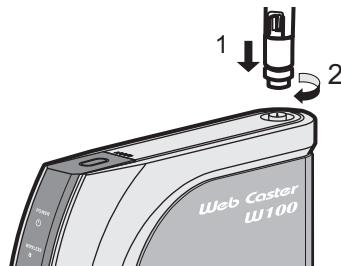
すでにネットワーク内にルータがある場合（フレッツ・光プレミアムで CTU（加入者網終端装置）をお使いの場合などを含む）は、本商品をブリッジモード（P30）でお使いください。

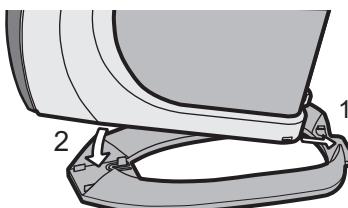
ブリッジモード

すでにネットワーク内にルータがある場合（フレッツ・光プレミアムでCTU（加入者網終端装置）をお使いの場合などを含む）は、ブリッジモードに設定します。「ブリッジ」とは、橋渡しを意味し、ネットワークを流れるデータの中継を行います。

接続イメージ図（ブリッジモード）

リピータモード

無線親機と無線機器間に障害物等がある場合など、電波が届きにくく、通信が不安定な場合は、本商品をリピータモードに設定して、無線親機と無線機器の間に設置します。この場合、本商品は無線の中継器として機能します。

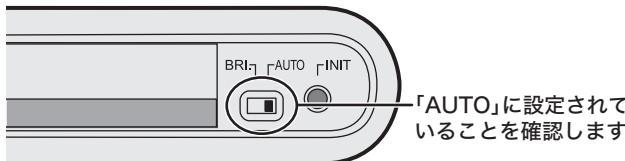
接続イメージ図（リピータモード）

2 本商品の設置

アンテナとスタンドの取り付け

本商品を使用する前に、アンテナを取り付けます。また、本商品を縦置きで使用する場合は、下記の手順でスタンドを取り付けてください。

1 本商品に付属のアンテナを取り付けます。

アンテナはしっかり装着してください。装着が不十分な場合、電波が正常に飛ばない場合があります。

2 本商品を縦置きにして設置する場合は、縦置き用スタンドを取り付けます。

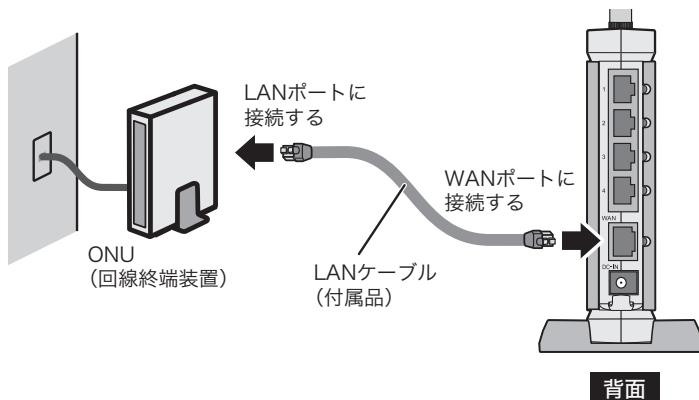
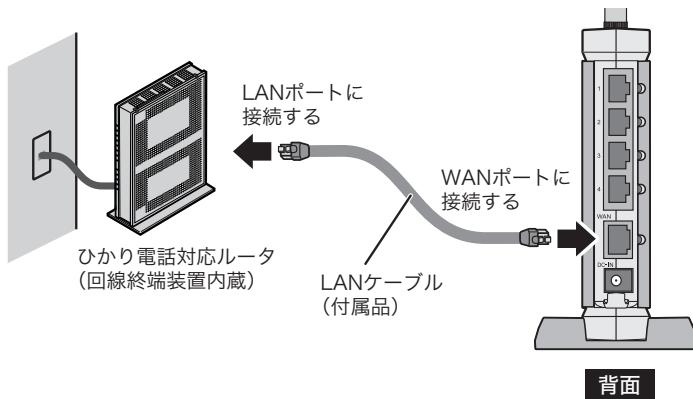
以上でアンテナとスタンドの取り付けは完了です。

回線の接続と電源の接続

アンテナやスタンドの取り付けが完了したら、ONU（回線終端装置）、ひかり電話対応ルータ、CTU（加入者網終端装置）、ADSL モデムなどと本商品を接続します。接続方法はご契約のサービスにより異なります。

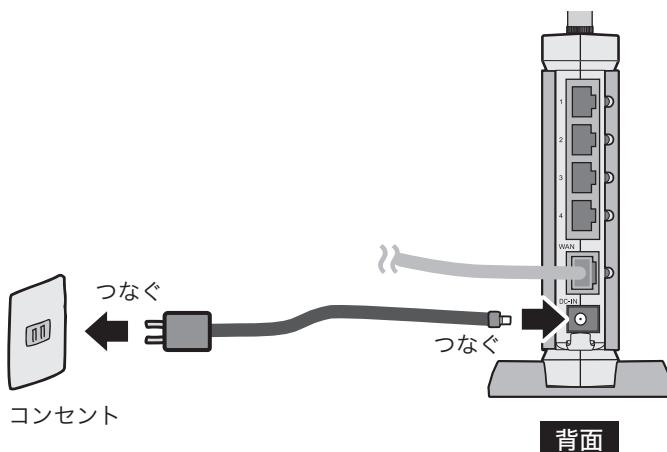
フレッツ 光ネクスト、B フレッツをご利用の方

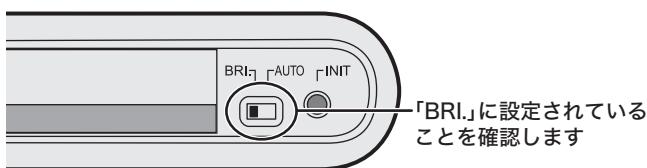
<本商品をルータとして使用する場合>

1 ONU（回線終端装置）、またはひかり電話対応ルータの電源を OFF にします。

2 本商品底面のスイッチを「AUTO」に設定します。

ワンポイント

- 底面のスイッチは、出荷時は「AUTO」に設定されています。
- スイッチを切り替える場合は、あらかじめ本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。

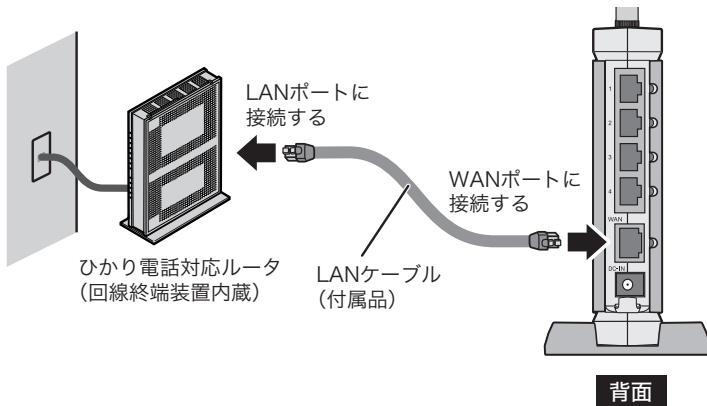
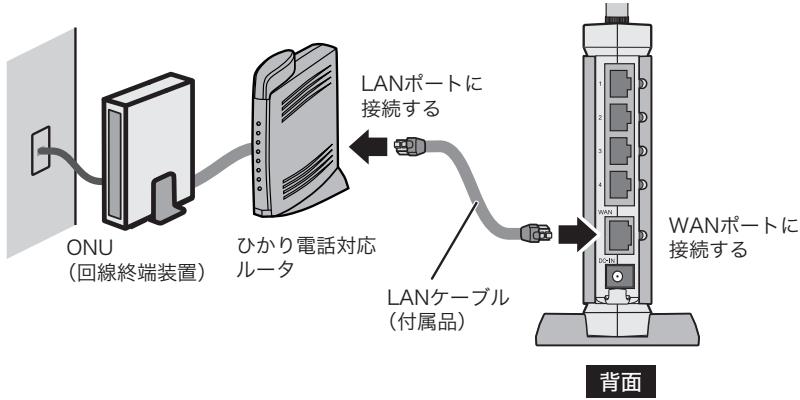
3 ONU（回線終端装置）、またはひかり電話対応ルータの LAN ポートと本商品背面の WAN ポートを付属の LAN ケーブルを使って接続します。

＜ケース１＞

＜ケース２＞

4 ONU（回線終端装置）、またはひかり電話対応ルータの電源を ON にします。

5　付属の AC アダプタを本商品とコンセントに接続します。

以上で回線と電源の接続は完了です。
続いて本商品のランプの状態（P42）を確認します。

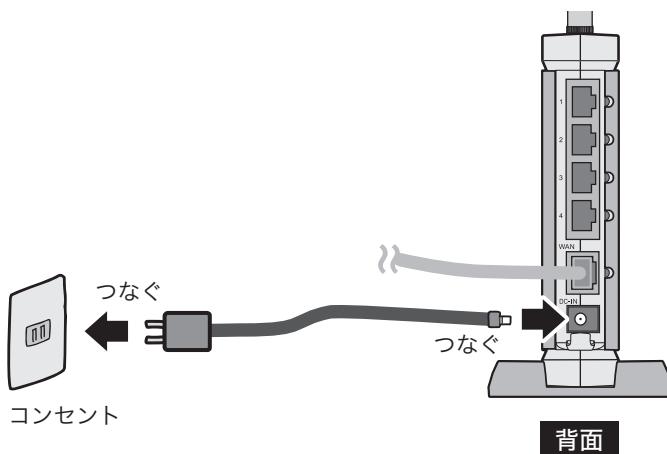
＜本商品をブリッジとして使用する場合＞

1　ひかり電話対応ルータ、ONU（回線終端装置）の電源を OFF にします。

2　本商品底面のスイッチを「BRI.」に設定します。

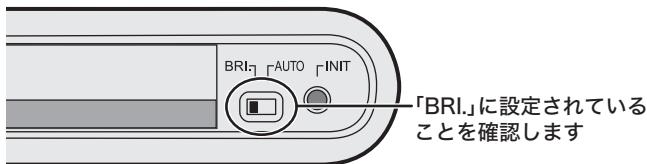
ワンポイント

- 底面のスイッチを「BRI.」に設定すると、本商品がブリッジモード（ルータ OFF）になります。
- スイッチを切り替える場合は、あらかじめ本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。

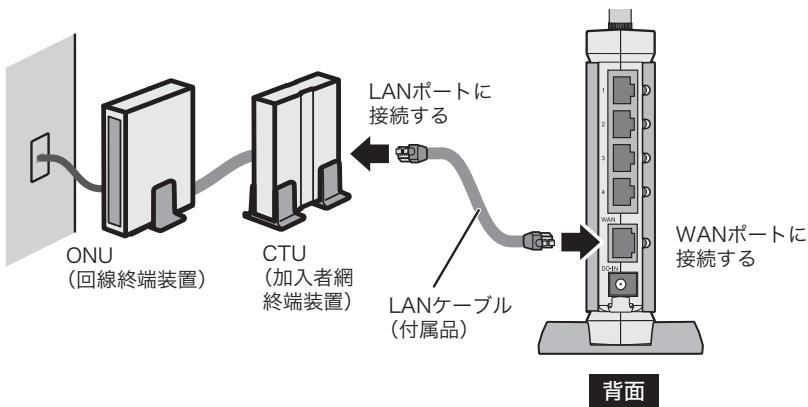
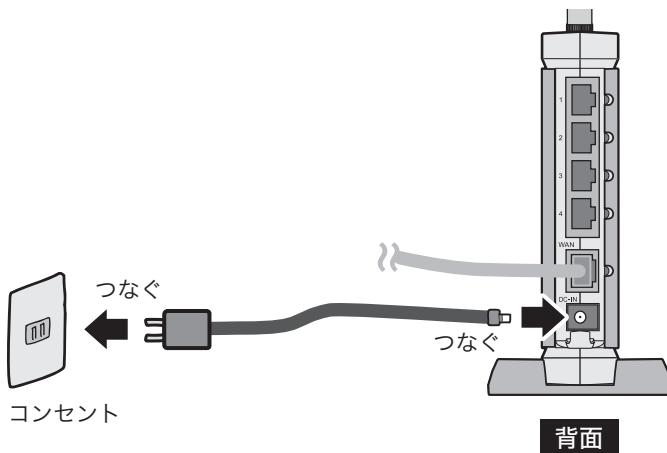
3 ひかり電話対応ルータの LAN ポートと本商品背面の WAN ポートを付属の LAN ケーブルを使って接続します。

<ケース1>

<ケース2>

4 ひかり電話対応ルータ、ONU（回線終端装置）の電源を ON にします。

5　付属の AC アダプタを本商品とコンセントに接続します。

以上で回線と電源の接続は完了です。
続いて本商品のランプの状態（P43）を確認します。

フレッツ・光プレミアムをご利用の方

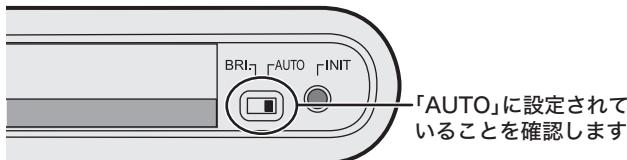
＜本商品をブリッジとして使用する場合＞

1 ONU（回線終端装置）、CTU（加入者網終端装置）の電源を OFF にします。

2 本商品底面のスイッチを「BRI.」に設定します。

ワンポイント

- 底面のスイッチを「BRI.」に設定すると、本商品がブリッジモード（ルータ OFF）になります。
- スイッチを切り替える場合は、あらかじめ本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。

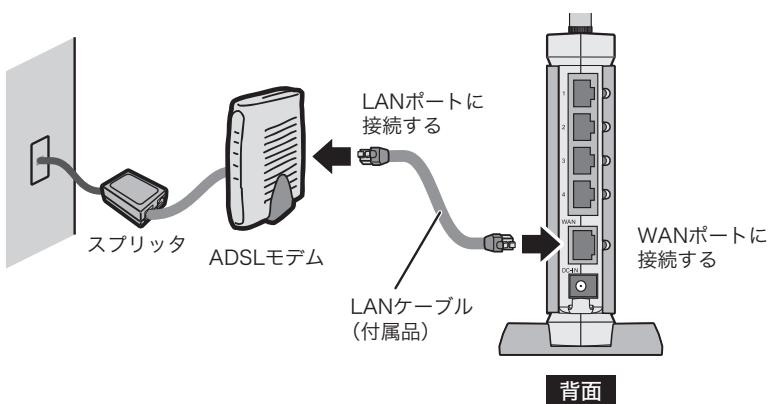
3 ご利用の機器接続構成をご確認のうえ、本商品背面の WAN ポートと付属の LAN ケーブルを使って接続します。

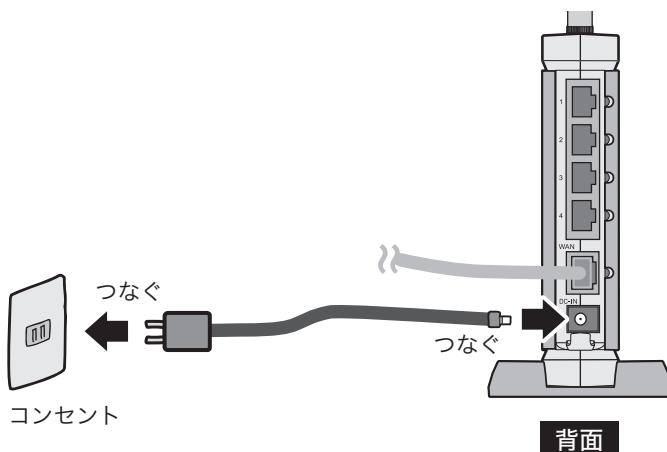
4　ONU（回線終端装置）、CTU（加入者網終端装置）の電源を ON にします。

5　付属の AC アダプタを本商品とコンセントに接続します。

以上で回線と電源の接続は完了です。
続いて本商品のランプの状態（P43）を確認します。

フレッツ･ADSL をご利用の方

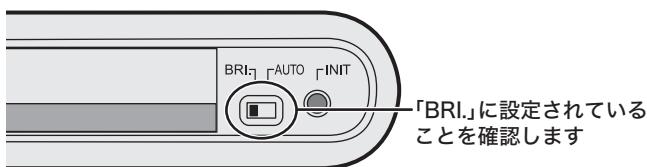
<本商品をルータとして使用する場合>

1 ADSL モデムの電源を OFF にします。

2 本商品底面のスイッチを「AUTO」に設定します。

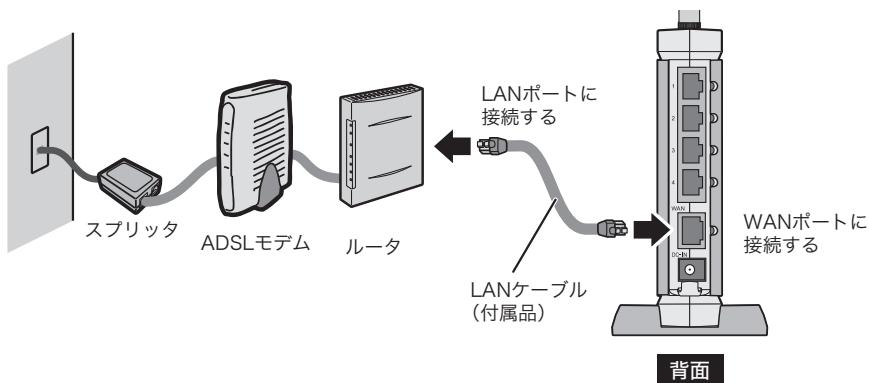
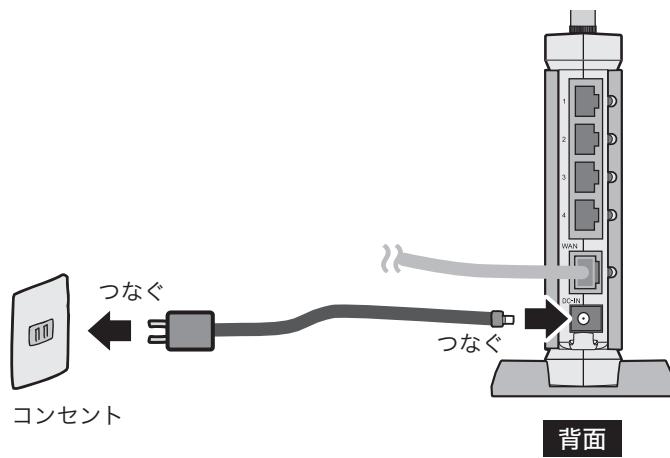
ワンポイント

- 底面のスイッチは、出荷時は「AUTO」に設定されています。
- スイッチを切り替える場合は、あらかじめ本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。

3 ADSL モデムの LAN ポートと本商品背面の WAN ポートを付属の LAN ケーブルを使って接続します。

4 ADSL モデムの電源を ON にします。

5　付属の AC アダプタを本商品とコンセントに接続します。

以上で回線と電源の接続は完了です。
続いて本商品のランプの状態（P42）を確認します。

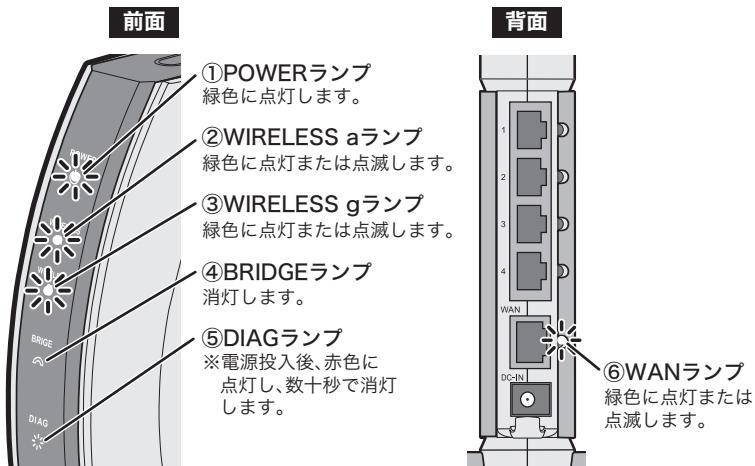
<本商品をブリッジとして使用する場合>

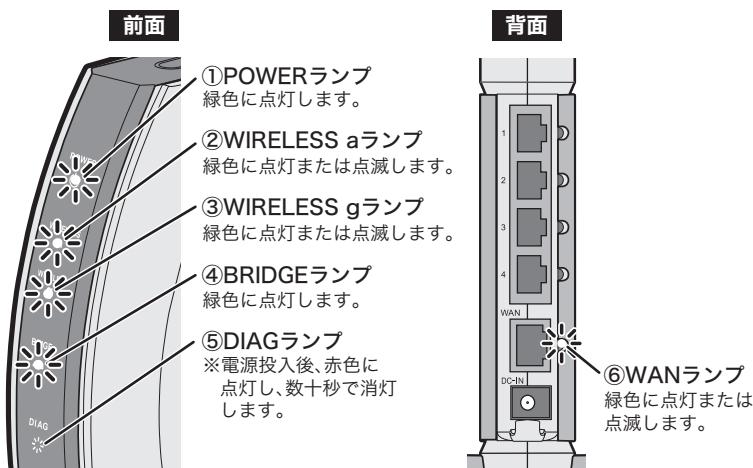
1　ADSL モデム、ルータの電源を OFF にします。

2　本商品底面のスイッチを「BRI.」に設定します。

ワンポイント

- 底面のスイッチを「BRI.」に設定すると、本商品がブリッジモード（ルータ OFF）になります。
- スイッチを切り替える場合は、あらかじめ本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。

3 ルータのLANポートと本商品背面のWANポートを付属のLANケーブルを使って接続します。

4 ADSLモデム、ルータの電源をONにします。

5 付属のACアダプタを本商品とコンセントに接続します。

以上で回線と電源の接続は完了です。
続いて本商品のランプの状態（P43）を確認します。

ランプ状態の確認

本商品と回線の接続が完了したら、本商品のランプの状態を確認します。ランプの状態は、本商品と回線の接続方法により異なります。

本商品をルータとして使用する場合

ランプが上記の状態にならないときは、７章「困ったときは」を参照してください。

本商品をブリッジとして使用する場合

ランプが上記の状態にならないときは、7章「困ったときは」を参照してください。

本商品の初期設定（ルータ・ブリッジモード）

初期設定のながれ

本商品をルータまたはブリッジとして使用する場合は、以下のながれで初期設定を行います。

LANケーブルで本商品に接続する場合

無線で本商品に接続する場合

パソコンと本商品をLANケーブルで接続する（P46）

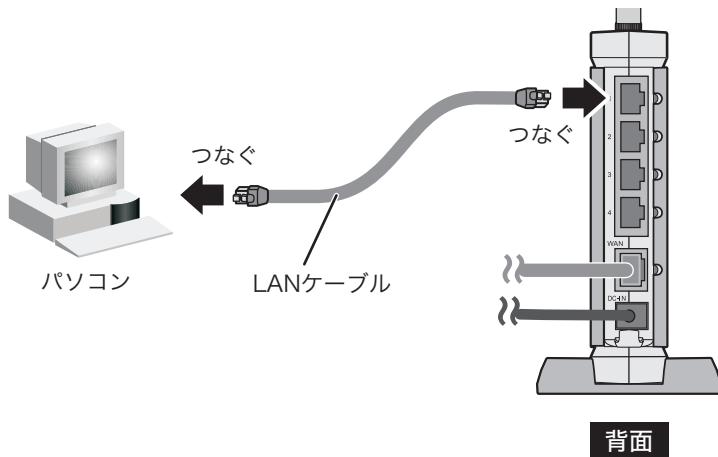
無線子機（Web Caster FT-STC-Ba/g）をセットアップする
（無線子機の取扱説明書を参照）

無線子機（Web Caster FT-STC-Ba/g）以外の機器を接続する

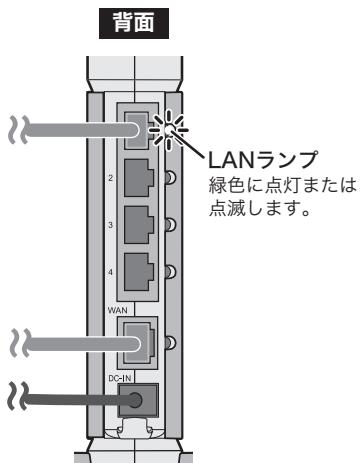
本商品の無線設定情報をご確認のうえ、無線で接続する（P49）

インターネットに接続できるか確認する（P50）
※本商品をルータとしてご使用の場合は、ここでプロバイダ情報の設定が必要になります。

設定完了

パソコンとの接続

本商品とパソコンとの接続方法は、次の２通りあります。

- LAN ケーブルを使って接続する方法（P46）
- 無線で接続する方法（P48）

LAN ケーブルを使って接続する場合（有線 LAN）

1　パソコンの電源を OFF にします。

2　パソコンの LAN ポートと本商品背面の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。

3　パソコンの電源を ON にします。

4　本商品背面の LAN ランプが点灯または点滅していることを確認します。

ランプが上記の状態にならないときは、
７章「困ったときは」を参照してください。

以上で本商品とパソコンの接続は完了です。

無線で接続する場合（無線 LAN）

■無線子機（Web Caster FT-STC-Ba/g）をお使いの方

本商品に無線で接続する場合は、事前に以下の内容を確認した後、無線子機（Web Caster FT-STC-Ba/g）の取扱説明書に記載の手順で接続してください。

※ AOSS で本商品に無線接続する場合は、SSID や暗号化が自動的に行われますので、下記内容の確認は不要です。

事前にご確認いただく内容

・本商品の SSID
（出荷時設定値：　本商品のラベルに記載（P27））

・暗号化の種類
（出荷時設定値：　暗号化なし）

・暗号化キー
（出荷時設定値：　なし）

ワンポイント

- SSID の設定は、本商品の設定画面で確認できます。（P114）
- 本商品に既に AOSS が設定されている場合、暗号化の種類と暗号化キーは、本商品の設定画面で確認できます。（P145）（AOSS を使用せずに暗号化設定を行った場合は、暗号化キーは表示されません）
- AOSS 設定は、本商品と接続する機器とを 1 対 1 で設定するため、設定中に別の機器を AOSS 接続することはできません。本商品 1 台に対して複数の機器を接続するときは、先に接続した機器の AOSS 設定完了後に別の機器を AOSS 設定してください。
- AOSS 設定に失敗すると、本商品の AOSS ランプが連続点滅します。その場合は、再度 AOSS ボタンを約 3 秒間押し続けると、AOSS 設定を行うことができます。

■無線子機（Web Caster FT-STC-Ba/g）以外をお使いの方

本商品に無線で接続する場合は、事前に以下の内容を確認した後、お使いの無線機器の取扱説明書に記載の手順で接続してください。

事前にご確認いただく内容

・本商品の SSID
（出荷時設定値：　本商品のラベルに記載（P27））

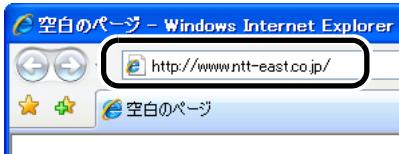
・暗号化の種類
（出荷時設定値：　暗号化なし）

・暗号化キー
（出荷時設定値：　なし）

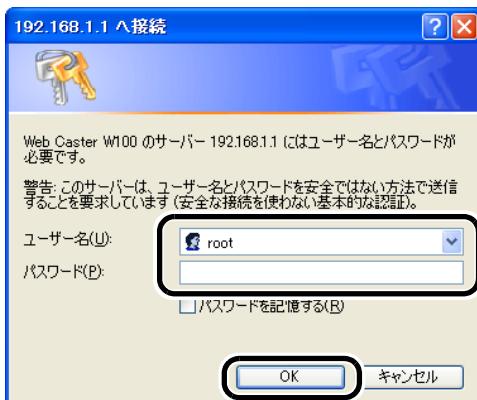
ワンポイント

- SSID の設定は、本商品の設定画面で確認できます。（P114）
- 本商品に既に AOSS が設定されている場合、暗号化の種類と暗号化キーは、本商品の設定画面で確認できます。（P145）（AOSS を使用せずに暗号化設定を行った場合は、暗号化キーは表示されません）

インターネットへの接続（接続確認）

本商品とパソコンとの接続が完了したら、以下の手順でインターネットに接続できるか確認してください。

1　Internet Explorer（または Safari）を起動します。

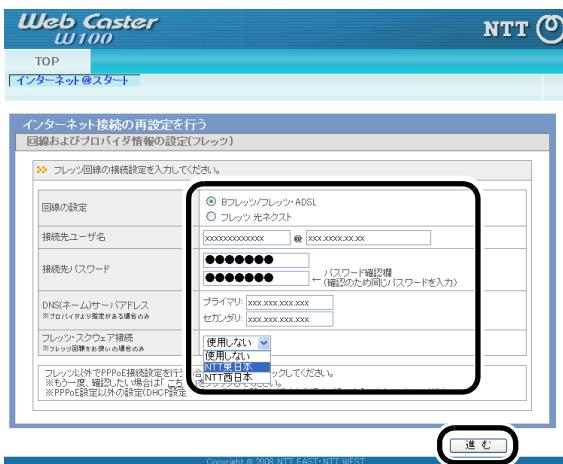
ワンポイント

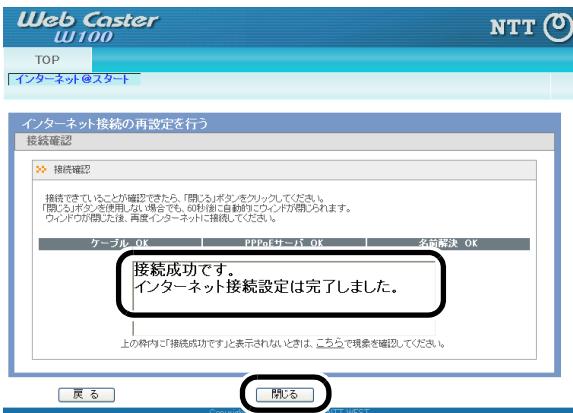
- Windows Vista/XP をお使いの場合は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Windows 2000 をお使いの場合は、[スタート]－[プログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Mac OS X をお使いの場合は、[Macintosh HD]－[アプリケーション]－[Safari]の順にクリックします。

2　アドレス欄に「http://www.ntt-east.co.jp/」（NTT 東日本の場合）、または「http://www.ntt-west.co.jp/」（NTT 西日本の場合）と入力して[Enter]キーを押します。

ワンポイント

- この後、当社のホームページが表示された場合は、設定完了です。続いて「暗号化の設定」(P54)を行ってください。
- 当社のホームページが表示されない場合は、続いて手順 3 以降を行ってください。

3 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」（小文字）、パスワードを空欄にして[OK]をクリックします。

お知らせ

[OK]をクリックしたときに再度同じ画面が表示される場合は、もう一度この操作を行ってください。

4 以下の画面が表示されたら、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。

5 プロバイダの資料(プロバイダ登録通知書など)にしたがって、各項目を入力し、[進む]をクリックします。

6 本商品が接続設定を確認しますので、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。

7 「接続成功です」という画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。

ワンポイント

「接続成功です」と表示されない場合は、画面の指示にしたがってください。

8 再度、Internet Explorer（または Safari）を起動します。

9 アドレス欄に「http://www.ntt-east.co.jp/」(NTT 東日本の場合)、または「http://www.ntt-west.co.jp/」(NTT 西日本の場合)と入力して[Enter]キーを押します。

10 当社のホームページが表示されることを確認します。

以上で本商品の初期設定は完了です。

本商品は、このままお使いいただけますが、無線の信号が暗号化されていないため、通信内容を盗聴される恐れがあります。「暗号化の設定」(P54)を参照して、無線信号を暗号化することを強くお勧めします。

※ 本商品のAOSSランプ(P26)が点灯している場合は、無線信号が暗号化されていますので、安心してご使用ください。

暗号化の設定

インターネットへの接続が完了したら、無線の信号を暗号化する設定を行います。暗号化を行わないと、通信内容を盗聴される恐れがありますので、ご注意ください。

暗号化の設定は、使用する暗号の種類によって異なりますので、以下を参照して設定を行ってください。

• WEP による暗号化設定（P54）
　ほとんどの無線機器で使用できる暗号化方式です。

• TKIP/AES による暗号化設定（P59）
　WEP よりも強固な TKIP、TKIP をさらに強固にした AES を使用する暗号化方式です。

ワンポイント

本商品の AOSS ランプ（P26）が点灯している場合は、すでに無線信号が暗号化されていますので、そのままご使用ください。

WEP による暗号化設定

1 Internet Explorer（または Safari）を起動します。

ワンポイント

- Windows Vista/XP をお使いの場合は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Windows 2000 をお使いの場合は、[スタート]－[プログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Mac OS X をお使いの場合は、[Macintosh HD]－[アプリケーション]－[Safari]の順にクリックします。

2 アドレス欄に「192.168.1.1」(または「192.168.1.201」)と入力して、[Enter]キーを押します。

お知らせ

- 本商品をルータモードでお使いの場合は、「192.168.1.1」と入力してください。
- 本商品をブリッジモードでお使いの場合は、「192.168.1.201」と入力してください。
- 192.168.1.1 および 192.168.1.201 は、本商品の初期 IP アドレスです。本商品の IP アドレスを変更された場合は、変更後の IP アドレスを入力して[Enter]キーを押してください。

3 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」(小文字)、パスワードを空欄にして[OK]をクリックします。

お知らせ

[OK]をクリックしたときに再度同じ画面が表示される場合は、もう一度この操作を行ってください。

4 以下の画面が表示されたら、「無線の暗号化を設定する」をクリックします。

5 暗号化を行う無線規格を選択します。
（ここでは例として、「11a と 11g に共通の暗号化を設定する」を選択して設定を行います）

お知らせ

外部からの不正アクセスや無線パケットの解析を防ぐため、802.11a/802.11g の両方に暗号化の設定を行うことをおすすめします。

6 [WEP]をクリックします。

7 暗号化キーを入力し、[設定]をクリックします。

- 入力形式は、文字入力または 16 進数入力が選択できます。
- WEP 暗号化キーは、入力形式によって、設定する文字数が異なります。

	文字入力	16 進数入力
64bit WEP	5 文字	10 桁
128bit WEP	13 文字	26 桁

- WEP 暗号化キーは、通常「1」を選択し、「1」の行に入力してください。

8　[設定]をクリックし、暗号化の設定を登録します。

お知らせ

[設定]をクリックすると、無線の信号が暗号化されるため、本商品とパソコンを無線で接続している場合は、接続が切断されます。その際、手順 9 の画面は表示されませんが、暗号化の設定は完了しています。

9　[設定完了]をクリックします。

以上で WEP による暗号化の設定は完了です。

TKIP/AES による暗号化設定

1 Internet Explorer(または Safari)を起動します。

ワンポイント

- Windows Vista/XP をお使いの場合は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Windows 2000 をお使いの場合は、[スタート]－[プログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Mac OS X をお使いの場合は、[Macintosh HD]－[アプリケーション]－[Safari]の順にクリックします。

2 アドレス欄に「192.168.1.1」(または「192.168.1.201」)と入力して、[Enter]キーを押します。

お知らせ

- 本商品をルータモードでお使いの場合は、「192.168.1.1」と入力してください。
- 本商品をブリッジモードでお使いの場合は、「192.168.1.201」と入力してください。
- 192.168.1.1 および 192.168.1.201 は、本商品の初期 IP アドレスです。本商品の IP アドレスを変更された場合は、変更後の IP アドレスを入力して[Enter]キーを押してください。

3 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」（小文字）、パスワードを空欄にして[OK]をクリックします。

お知らせ

[OK]をクリックしたときに再度同じ画面が表示される場合は、もう一度この操作を行ってください。

4 以下の画面が表示されたら、「無線の暗号化を設定する」をクリックします。

5 暗号化を行う無線規格を選択します。
（ここでは例として、「11a と 11g に共通の暗号化を設定する」を選択して設定を行います）

お知らせ

外部からの不正アクセスや無線パケットの解析を防ぐため、802.11a/802.11g の両方に暗号化の設定を行うことをおすすめします。

6 [AES]（または[TKIP]）をクリックします。

ワンポイント

暗号の種類についての詳細は、画面に表示される説明をご参照ください。

7　暗号化キー(事前共有キー)を入力し、[設定]をクリックします。

- 入力形式は、文字入力または 16 進数入力で異なります。

文字入力	8 ～ 63 文字
16 進数	64 桁

- TKIP や AES は手軽で高いセキュリティ効果がありますが、事前共有キーを辞書に載っているような単語のみとすると、容易にキーを特定されてしまう可能性があります。セキュリティ効果を保つため、事前共有キーは以下の点に考慮して設定することをおすすめします。

  ・なるべく辞書に載っている単語を使わない
  ・数字を適宜組み合わせる
  ・文字数を少なくとも 13 文字(小文字だけなら 17 文字)以上とする

8 [設定]をクリックし、暗号化の設定を登録します。

お知らせ

[設定]をクリックすると、無線の信号が暗号化されるため、本商品とパソコンを無線で接続している場合は、接続が切断されます。その際、手順 9 の画面は表示されませんが、暗号化の設定は完了しています。

9 [設定完了]をクリックします。

以上で TKIP/AES による暗号化の設定は完了です。

本商品の初期設定（リピータモード）

初期設定のながれ

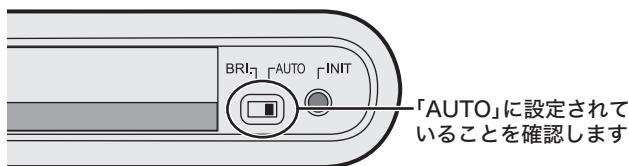
本商品をリピータとして使用する場合は、以下のながれで初期設定を行います。

設定用パソコンと本商品をLANケーブルで接続する（P66）

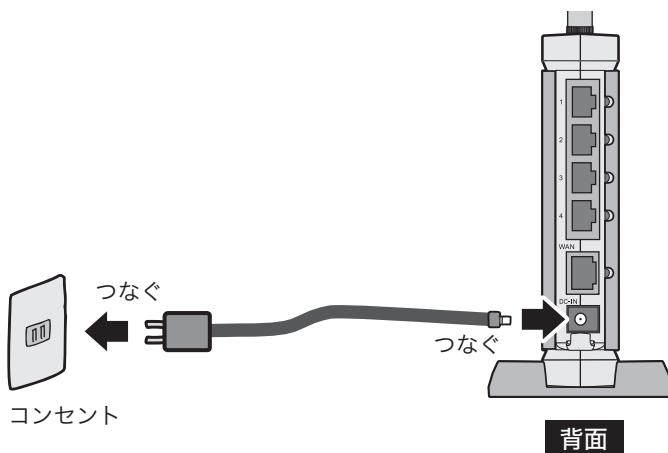
設定用パソコンにIPアドレスを割り当てる（P69）

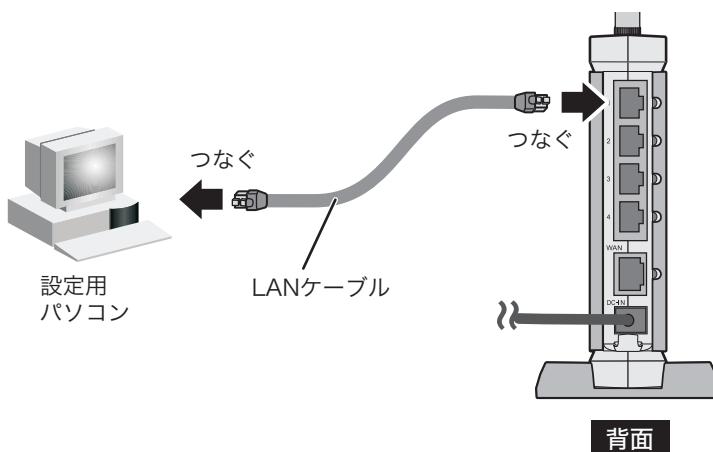
本商品をリピータモードに切り替える（P75）

接続先の無線親機と本商品を無線で接続する（P78）

本商品とパソコンを接続する（P88）

設定完了

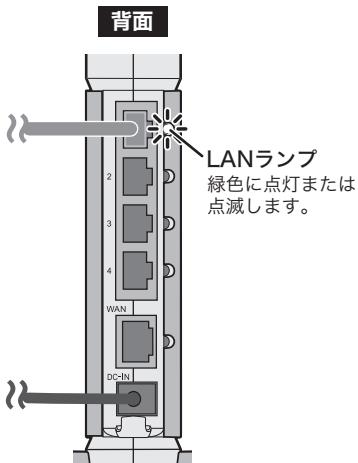
設定用パソコンと本商品の接続

リピータの設定を行うため、設定用パソコンと本商品をLANケーブルで接続します。以下の手順に従って接続を行ってください。

1　設定用パソコンの電源を OFF にします。

2　本商品底面のスイッチが「AUTO」になっていることを確認します。

ワンポイント

底面のスイッチは、出荷時は「AUTO」に設定されています。

3　付属の AC アダプタを本商品とコンセントに接続します。

4 設定用パソコンの LAN ポートと本商品背面の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。

お知らせ

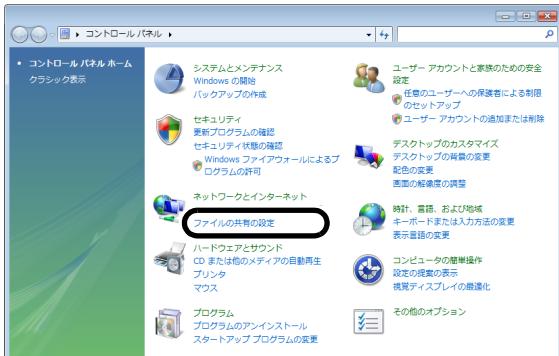
接続先の無線親機と本商品を LAN ケーブルで接続しないでください。
ループ現象(円環状に形成されたネットワーク内で、データが永遠に循環する現象)が発生し、正常に通信ができなくなります。

5 設定用パソコンの電源を ON にします。

6　本商品背面の LAN ランプが点灯または点滅していることを確認します。

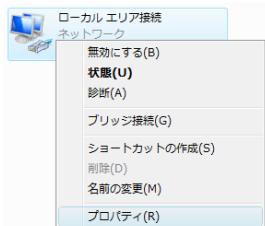
ランプが上記の状態にならないときは、
７章「困ったときは」を参照してください。

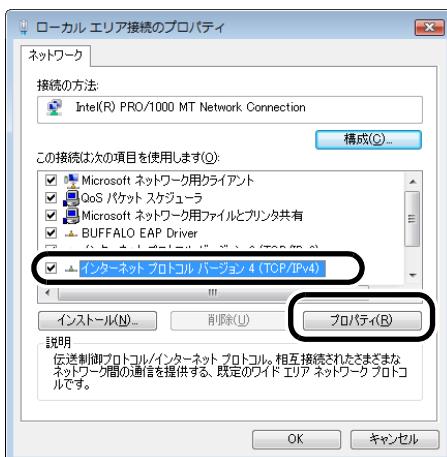
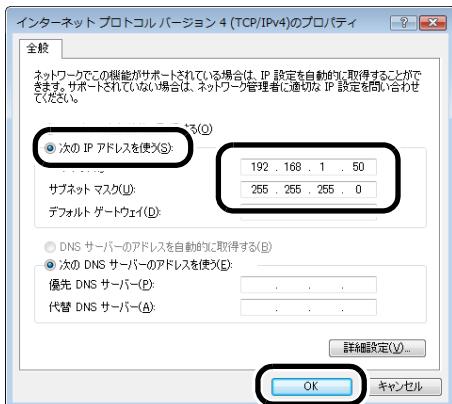
以上で設定用パソコンと本商品の接続は完了です。

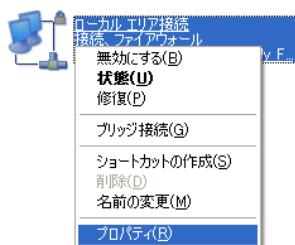
設定用パソコンへの IP アドレスの割り当て

設定用パソコンと本商品の接続が完了したら、設定用パソコンに IP アドレスを割り当てます。手順は OS よって異なりますので、以下を参照して設定を行ってください。

- Windows Vista をお使いの場合 (P69)
- Windows XP/2000 をお使いの場合 (P71)
- Mac OS X をお使いの場合 (P73)

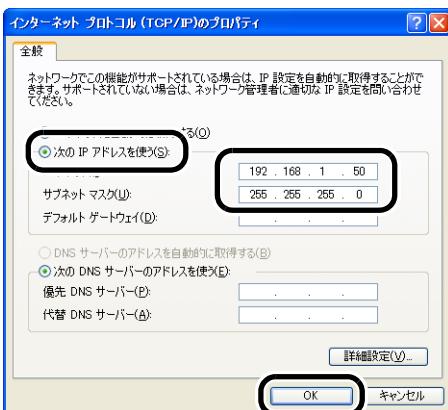
Windows Vista をお使いの場合

1 [スタート]－[コントロールパネル]の順にクリックします。

2 「ファイルの共有の設定」をクリックします。

3 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

4 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

5 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックします。

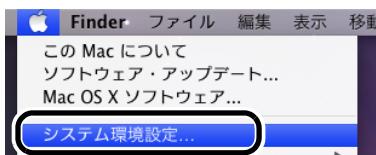
6 「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」を選択して、[プロパティ]をクリックします。

7 「次の IP アドレスを使う」を選択して、IP アドレス欄に設定用の IP アドレス（画面では例として「192.168.1.50」を使用）とサブネットマスク（画面では例として「255.255.255.0」）を入力して、[OK]をクリックします。

以上で IP アドレスの設定は完了です。

Windows XP/2000 をお使いの場合

1 [スタート]－([設定])－[コントロールパネル]の順にクリックします。

2 Windows XP の場合は、[ネットワークとインターネット接続]－[ネットワーク接続]の順にクリックします。
Windows 2000の場合は、[ネットワークとダイアルアップ接続]をダブルクリックします。

3 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して、[プロパティ]をクリックします。

5 「次の IP アドレスを使う」を選択して、IP アドレス欄に設定用の IP アドレス（画面では例として「192.168.1.50」を使用）とサブネットマスク（画面では例として「255.255.255.0」）を入力して、[OK]をクリックします。

以上で IP アドレスの設定は完了です。

Mac OS Xをお使いの場合

1 [アップルメニュー]－[システム環境設定]の順にクリックします。

2 「ネットワーク」をクリックします。

3 「Ethernet」をクリックします。

お知らせ

- 上記は Mac OS Ｘ 10.5 の画面です。Mac OS Ｘのバージョンによっては画面が異なることがあります。
- Mac OS Ｘ 10.4 の場合は、「内蔵 Ethernet」を選択して[設定]をクリックしてください。

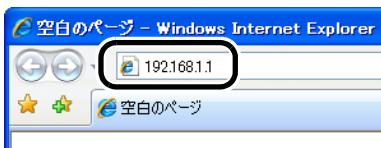
4 構成で「手入力」を選択し、IP アドレス欄に設定用の IP アドレス（画面では例として「192.168.1.50」を使用）とサブネットマスク（画面では例として「255.255.255.0」）を入力して、[適用]をクリックします。

お知らせ

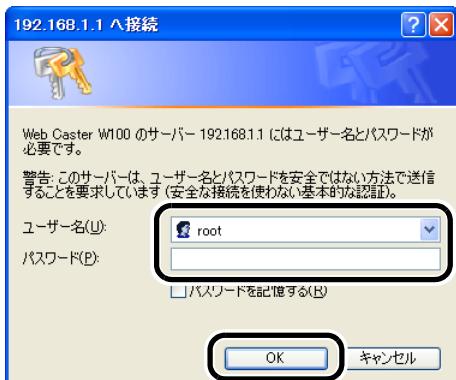
- 上記は Mac OS Ｘ 10.5 の画面です。Mac OS Ｘのバージョンによっては画面が異なることがあります。
- Mac OS Ｘ 10.4 の場合は、IPv4 の設定で「手入力」を選択し、IP アドレス欄に設定用の IP アドレス（例：192.168.1.50）とサブネットマスク（例：255.255.255.0）を入力して、[今すぐ適用]をクリックします。

以上で IP アドレスの設定は完了です。

リピータモードへの切り替え

設定用パソコンに IP アドレスを割り当てたら、本商品をリピータモードに切り替えます。以下を参照して設定を行ってください。

1 Internet Explorer(または Safari)を起動します。

ワンポイント

- Windows Vista/XP をお使いの場合は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Windows 2000 をお使いの場合は、[スタート]－[プログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Mac OS X をお使いの場合は、[Macintosh HD]－[アプリケーション]－[Safari]の順にクリックします。

2 アドレス欄に「192.168.1.1」と入力して、[Enter]キーを押します。

お知らせ

本商品の IP アドレスを変更された場合は、変更後の IP アドレスを入力して[Enter]キーを押してください。

3 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」（小文字）、パスワードを空欄にして[OK]をクリックします。

お知らせ

[OK]をクリックしたときに再度同じ画面が表示される場合は、もう一度この操作を行ってください。

4 以下の画面が表示されたら、「ルータOFF・リピータモード」を選択して、[動作モード切り替え]をクリックします。

5 リピータモード時の IP アドレス設定画面が表示されたら、「自分で設定を行う」を選択して、IP アドレス（画面では例として「192.168.1.202」を使用）とサブネットマスク（画面では例として「255.255.255.0」）を入力して、[進む]をクリックします。

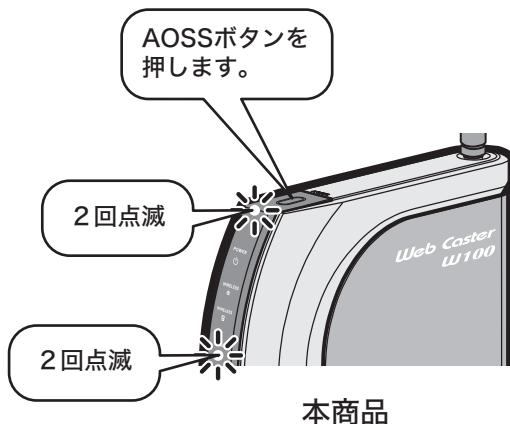
6 [設定]をクリックします。

7 「リピータモードの設定が完了しました」と表示されたら、いったん画面を閉じます。

以上でリピータモードへの切り替えは完了です。

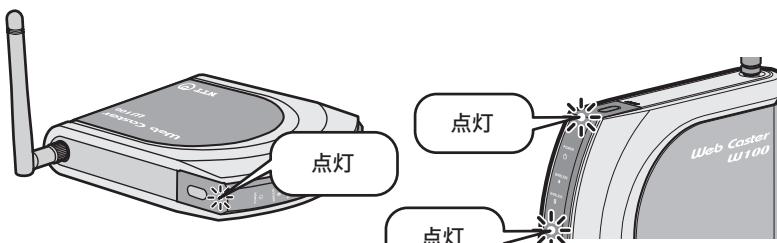
無線親機との接続

リピータモードへの切り替えが完了したら、無線親機と本商品を無線で接続します。接続方法は以下の３通りありますので、以下を参照して設定を行ってください。

- AOSS を使って接続する場合 (P78)
  接続先の無線親機が AOSS に対応している場合、この方法で接続します。接続先の無線親機と本商品の AOSS ボタンを押すだけで設定が完了します。
- かんたん設定ファイルを使って接続する場合 (P80)
  AOSS に対応していない当社製無線親機と接続する場合、この方法で接続します。事前に接続先の情報を書き出した「かんたん設定ファイル」をご用意ください。
- 無線親機を検索して接続する場合 (P84)
  接続先の無線親機が AOSS に対応していなかったり、「かんたん設定ファイル」がお手元にない場合、この方法で接続します。事前に接続先の SSID と暗号化設定をご確認ください。

AOSS を使って接続する場合

接続先の無線親機が AOSS に対応している場合は、以下の手順で接続を行います。

1　本商品の AOSS ランプと BRIDGE ランプが 2 回点滅を繰り返すまで（約 3 秒間）AOSS ボタンを押し続けます。

本商品

2 接続先の無線親機の AOSS ランプが 2 回点滅を繰り返すまで（約 3 秒間）AOSS ボタンを押し続けます。

接続先の無線親機

3 自動的に本商品と無線親機が通信し、設定が行われます。本商品と無線親機の AOSS ランプおよび本商品の BRIDGE ランプが点灯したら、接続は完了です。

接続先の無線親機　　本商品

お知らせ

- AOSS 設定の場合、無線親機－本製品間は 1 対 1 で設定が行われるため、設定中に別のリピータを AOSS 接続することはできません。1 つの親機に対して複数のリピータを接続するときは、先に接続したリピータの AOSS 設定完了後に別のリピータを AOSS 設定してください。
- 親機に正しく接続できなかった場合、本商品の AOSS ランプが連続点滅します。その場合は、再度 AOSS ボタンを約 3 秒間押し続けると、AOSS 設定を行うことができます。
- 本商品が親機に接続しているときは、BRIDGE ランプが点灯します。
  このとき AOSS ボタンを押すと、本商品に接続する子機を待ち受ける状態になります。

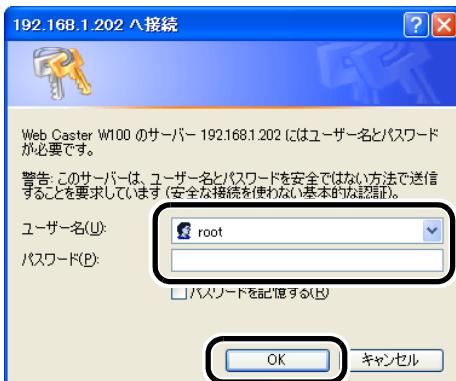
以上で無線親機との接続は完了です。

かんたん設定ファイルを使って接続する場合

AOSS に対応していない当社製無線親機と接続する場合で、接続先の設定情報を記録した「かんたん設定ファイル」がお手元にある場合は、以下の手順で接続を行います。

お知らせ

接続先の無線親機の「かんたん設定ファイル」がない場合は、「AOSS を使って接続する場合」(P78) または「無線親機を検索して接続する場合」(P84) を参照して接続を行ってください。

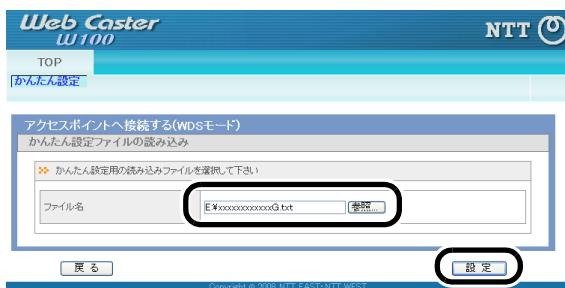
1 Internet Explorer（または Safari）を起動します。

ワンポイント

- Windows Vista/XP をお使いの場合は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Windows 2000 をお使いの場合は、[スタート]－[プログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Mac OS X をお使いの場合は、[Macintosh HD]－[アプリケーション]－[Safari]の順にクリックします。

2 アドレス欄に「リピータモードへの切り替え」(P75) で設定した IP アドレス（例：192.168.1.202）を入力して、[Enter]キーを押します。

3 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」（小文字）、パスワードを空欄にして［OK］をクリックします。

お知らせ

［OK］をクリックしたときに再度同じ画面が表示される場合は、もう一度この操作を行ってください。

4 以下の画面が表示されたら、「アクセスポイントへ接続する（WDS モード）」をクリックします。

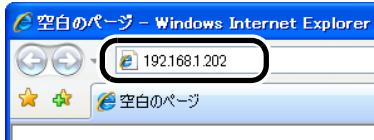
5　かんたん設定ファイルに「利用する」を選択し、[設定]をクリックします。

6　[参照]をクリックし、かんたん設定ファイルを選択して[設定]をクリックします。

7　設定される内容を確認し、[設定]をクリックします。

8 設定された内容を確認し、[完了]をクリックします。

以上で無線親機との接続は完了です。

無線親機を検索して接続する場合

接続先の無線親機の「かんたん設定ファイル」がなかったり、AOSS に対応していない場合は、
本商品から接続先の無線親機を検索して接続を行います。以下の手順で接続を行います。

1　Internet Explorer（または Safari）を起動します。

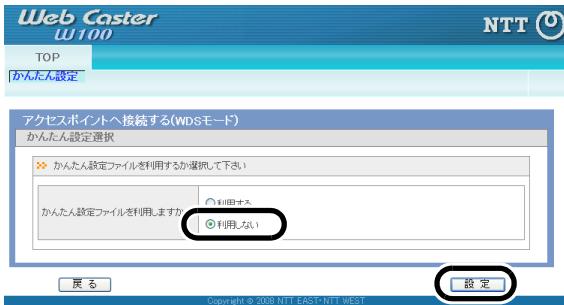
ワンポイント

- Windows Vista/XP をお使いの場合は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Windows 2000 をお使いの場合は、[スタート]－[プログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Mac OS X をお使いの場合は、[Macintosh HD]－[アプリケーション]－[Safari]の順にクリックします。

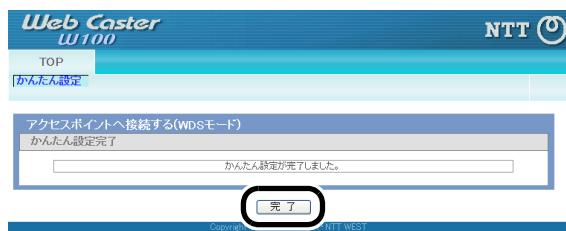
2　アドレス欄に「リピータモードへの切り替え」(P75) で設定した IP アドレス（例：192.168.1.202）を入力して、[Enter]キーを押します。

3 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」（小文字）、パスワードを空欄にして［OK］をクリックします。

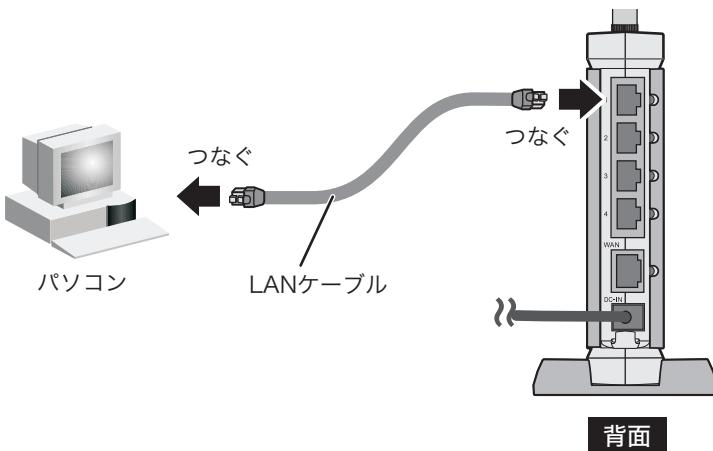
お知らせ

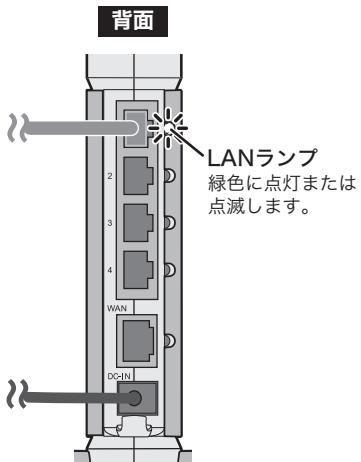
［OK］をクリックしたときに再度同じ画面が表示される場合は、もう一度この操作を行ってください。

4 以下の画面が表示されたら、「アクセスポイントへ接続する（WDS モード）」をクリックします。

5　かんたん設定ファイルに「利用しない」を選択し、[設定]をクリックします。

6　[検索]をクリックします。

7　接続先の無線親機を選択し、[選択]をクリックします。

8 接続先の無線親機に設定されている暗号化方式と暗号化キーを設定し、[設定]をクリックします。

9 「設定が完了しました」と表示され、しばらくして「かんたん設定が完了しました」と表示されたら[完了]をクリックします。

以上で無線親機との接続は完了です。

パソコンとの接続

リピータ（本商品）と無線親機との接続が完了したら、パソコンとリピータ（本商品）を接続します。以下を参照して設定を行ってください。

LAN ケーブルを使って接続する場合（有線 LAN）

1 パソコンの電源を OFF にします。

2 パソコンの LAN ポートとリピータ（本商品）背面の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。

3 パソコンの電源を ON にします。

4 リピータ（本商品）背面のLAN ランプが点灯または点滅していることを確認します。

背面

ランプが上記の状態にならないときは、
７章「困ったときは」を参照してください。

以上でパソコンとの接続は完了です。

無線で接続する場合（無線 LAN）

■無線子機（Web Caster FT-STC-Ba/g）をお使いの方

リピータ（本商品）に無線で接続する場合は、事前に以下の内容を確認した後、無線子機（Web Caster FT-STC-Ba/g）の取扱説明書に記載の手順で接続してください。

事前にご確認いただく内容

・無線親機の SSID

・暗号化の種類

・暗号化キー

ワンポイント

- 出荷時設定の場合、SSID や暗号化の設定は、リピータ（本商品）が接続している無線親機の設定を引き継ぎます。
- AOSS でリピータ（本商品）に無線接続する場合は、事前にリピータ（本商品）の BRIDGE ランプが点灯していることを確認してから AOSS 接続を行ってください。
  その際、SSID や暗号化が自動的に行われますので、上記内容の確認は不要です。
- AOSS 設定は、本商品と接続する機器とを 1 対 1 で設定するため、設定中に別の機器を AOSS 接続することはできません。本商品 1 台に対して複数の機器を接続するときは、先に接続した機器の AOSS 設定完了後に別の機器を AOSS 設定してください。
- AOSS 設定に失敗すると、本商品の AOSS ランプが連続点滅します。その場合は、再度 AOSS ボタンを約 3 秒間押し続けると、AOSS 設定を行うことができます。
- 接続先の無線親機の SSID 設定は、その機器の取扱説明書を参照してご確認ください。
- リピータ（本商品）に既に AOSS が設定されている場合、暗号化の種類と暗号化キーは、リピータ設定画面で確認できます。（P145）（AOSS を使用せずに暗号化設定を行った場合は、暗号化キーは表示されません）

■無線子機（Web Caster FT-STC-Ba/g）以外をお使いの方

リピータ（本商品）に無線で接続する場合は、事前に以下の内容を確認した後、お使いの無線機器の取扱説明書に記載の手順で接続してください。

事前にご確認いただく内容

・無線親機の SSID

・暗号化の種類

・暗号化キー

ワンポイント

- 出荷時設定の場合、SSID や暗号化の設定は、リピータ（本商品）が接続している無線親機の設定を引き継ぎます。
- 無線親機の SSID 設定は、無線親機の取扱説明書を参照してご確認ください。
- 本商品に既に AOSS が設定されている場合、暗号化の種類と暗号化キーは、本商品の設定画面で確認できます。（P145）（AOSS を使用せずに暗号化設定を行った場合は、暗号化キーは表示されません）

本商品の設定画面

設定画面とは

本商品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本商品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。

パラメータ	説明
WAN/LAN（LAN 設定）	クリックすると、WAN ポート／ LAN ポートに関する設定画面を表示します。
無線設定	クリックすると、無線に関する設定画面を表示します。
セキュリティ	クリックすると、セキュリティに関する設定画面を表示します。
ゲーム&アプリ	クリックすると、ゲームやアプリケーションで使用する場合の設定画面を表示します。
管理設定	クリックすると、本商品の管理に関する設定画面を表示します。
ステータス	クリックすると、本商品のステータス情報を表示します。

パラメータ	説明
かんたん設定	無線信号の暗号化や無線チャンネルの変更などの本商品に関する設定をかんたんに行なうことができます。
動作モード情報	現在の動作モード（ルータ / ブリッジ / リピータ）が表示されます。
[動作モード切り替え]ボタン	このボタンをクリックすると、本商品の動作モードを切り替えることができます。
WAN 情報	現在の WAN 側の接続先情報が表示されます。
[接続確認]ボタン	このボタンをクリックすると、本商品がインターネットに正しく接続しているか確認することができます。
[現在の状態を表示する]ボタン	このボタンをクリックすると、現在表示されている画面が更新されます。
無線情報	現在の無線の設定が表示されます。
[AOSS]ボタン	このボタンをクリックすると、AOSS 設定画面が表示されます。
ログアウト	本商品の設定画面からログアウトします。5 分間通信がない場合、自動的にログアウトされます。

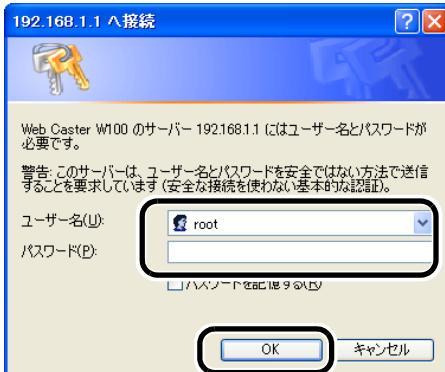
設定画面を表示する

本商品の設定画面は、以下の手順で表示することができます。

1 Internet Explorer（または Safari）を起動します。

ワンポイント

- Windows Vista/XP をお使いの場合は、[スタート] − [すべてのプログラム] − [Internet Explorer] の順にクリックします。
- Windows 2000 をお使いの場合は、[スタート] − [プログラム] − [Internet Explorer] の順にクリックします。
- Mac OS X をお使いの場合は、[Macintosh HD] − [アプリケーション] − [Safari] の順にクリックします。

2 アドレス欄に本商品の IP アドレスを入力して、[Enter] キーを押します。

ワンポイント

- 本商品の IP アドレスの出荷時設定は、以下の通りです。
  ルータモード時......................192.168.1.1
  ブリッジモード時..................192.168.1.201
  リピータモード時..................192.168.1.202
- 本商品の IP アドレスを変更した場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。
- 設定した IP アドレスを忘れてしまった場合は、設定初期化スイッチ（P27）を押して、設定を初期化してください。その場合、IP アドレス以外の値も出荷時設定に戻りますので、ご注意ください。

3　ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」（小文字）、パスワードに本商品に設定したパスワードを入力して[OK]をクリックします。

ワンポイント

- 本商品は、出荷時はパスワードが設定されていません。
- 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、設定初期化スイッチ（P27）を押して、設定を初期化してください。その場合、パスワード以外の値も出荷時設定に戻りますので、ご注意ください。

4　設定画面が表示されます。

メニュー構成（ルータモード）

ルータモード時のメニュー階層は、以下の通りです。各項目の説明は、それぞれのページを参照してください。

メイン画面	説明	ページ
WAN/LAN		
WAN	WAN 側ポートの設定を行う画面です。	P103
PPPoE	PPPoE に関する設定を行う画面です。	P104
LAN	LAN 側ポートの設定を行う画面です。	P107
アドレス変換	WAN 側をインターネットに接続するときに使用するアドレス変換機能に関する設定を行う画面です。	P109
経路情報	本商品が行う通信の IP 経路の設定を行う画面です。	P110
RIP	RIP(Routing Information Protocol) の設定を行う画面です。	P111
無線設定		
AOSS	AOSS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P112
基本	無線の基本的な設定を行う画面です。	P114
セキュリティ	無線のセキュリティに関する設定を行う画面です。	P119
拡張	無線の拡張設定を行う画面です。	P121
WMM	本商品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。	P123
MAC アクセス制限	無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P126
セキュリティ		
ファイアウォール	本商品のファイアウォール機能を設定する画面です。	P127
IP フィルタ	LAN 側と WAN 側の間で通過するパケットに関する IP フィルタの編集を行う画面です。	P129
IPv6/PPPoE ブリッジ・VPN パススルー	IPv6/PPPoE ブリッジ・VPN パススルーに関する設定を行う画面です。	P130
ゲーム＆アプリ		
ポート変換	ポート変換に関する設定を行う画面です。	P131
DMZ	LAN 側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。	P132
UPnP	UPnP（Universal Plug and Play）に関する設定を行う画面です。	P133

管理設定		
本体	本商品の名称を設定する画面です。	P134
パスワード	本商品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。	P134
時刻	本商品の内部時計を設定する画面です。	P135
NTP	本商品の内部時計を NTP サーバと同期するための設定を行う画面です。	P136
アクセス	本商品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P137
ログ	syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。	P138
保存 / 復元	本商品の設定を保存したり、設定ファイルから設定を復元する画面です。	P139
初期化 / 再起動	本商品を初期化したり、再起動するための画面です。	P140
ファーム更新	本商品のファームウェアを更新するための画面です。	P140
ステータス		
システム	本商品のシステム情報を確認する画面です。	P141
ログ	本商品に記録されているログ情報を確認する画面です。	P142
通信パケット	本商品が通信したパケットの合計を確認する画面です。	P143
クライアントモニタ	本商品と通信している機器を確認する画面です。	P143
診断	本商品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。	P144
ログアウト		
クリックすると本商品の設定画面からログアウトします。		

メニュー構成（ブリッジモード）

ブリッジモード時のメニュー階層は、以下の通りです。各項目の説明は、それぞれのページを参照してください。

メイン画面	説明	ページ
LAN		
LAN	LAN 側ポートの設定を行う画面です。	P107
経路情報	本商品が行う通信の IP 経路の設定を行う画面です。	P110
RIP	RIP(Routing Information Protocol) の設定を行う画面です。	P111
無線設定		
AOSS	AOSS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P112
基本	無線の基本的な設定を行う画面です。	P114
セキュリティ	無線のセキュリティに関する設定を行う画面です。	P119
拡張	無線の拡張設定を行う画面です。	P121
WMM	本商品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。	P123
MAC アクセス制限	無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P126
管理設定		
本体	本商品の名称を設定する画面です。	P134
パスワード	本商品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。	P134
時刻	本商品の内部時計を設定する画面です。	P135
NTP	本商品の内部時計を NTP サーバと同期するための設定を行う画面です。	P136
アクセス	本商品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P137
ログ	syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。	P138
保存 / 復元	本商品の設定を保存したり、設定ファイルから設定を復元する画面です。	P139
初期化 / 再起動	本商品を初期化したり、再起動するための画面です。	P140
ファーム更新	本商品のファームウェアを更新するための画面です。	P140
ステータス		
システム	本商品のシステム情報を確認する画面です。	P141

ログ	本商品に記録されているログ情報を確認する画面です。	P142
通信パケット	本商品が通信したパケットの合計を確認する画面です。	P143
クライアントモニタ	本商品と通信している機器を確認する画面です。	P143
診断	本商品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。	P144
ログアウト		
クリックすると本商品の設定画面からログアウトします。		

メニュー構成（リピータモード）

リピータモード時のメニュー階層は、以下の通りです。各項目の説明は、それぞれのページを参照してください。

メイン画面	説明	ページ
LAN		
LAN	LAN 側ポートの設定を行う画面です。	P107
経路情報	本商品が行う通信の IP 経路の設定を行う画面です。	P110
RIP	RIP(Routing Information Protocol) の設定を行う画面です。	P111
無線設定		
AOSS	AOSS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P112
アクセスポイント側	アクセスポイントとの接続設定を行う画面です。	P115
パソコン側	パソコンとの接続設定を行う画面です。	P117
拡張	無線の拡張設定を行う画面です。	P121
WMM	本商品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。	P123
MAC アクセス制限	無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P126
管理設定		
本体	本商品の名称を設定する画面です。	P134
パスワード	本商品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。	P134
時刻	本商品の内部時計を設定する画面です。	P135
NTP	本商品の内部時計を NTP サーバと同期するための設定を行う画面です。	P136
アクセス	本商品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P137
ログ	syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。	P138
保存 / 復元	本商品の設定を保存したり、設定ファイルから設定を復元する画面です。	P139
初期化 / 再起動	本商品を初期化したり、再起動するための画面です。	P140
ファーム更新	本商品のファームウェアを更新するための画面です。	P140
ステータス		
システム	本商品のシステム情報を確認する画面です。	P141

ログ	本商品に記録されているログ情報を確認する画面です。	P142
通信パケット	本商品が通信したパケットの合計を確認する画面です。	P143
クライアントモニタ	本商品と通信している機器を確認する画面です。	P143
診断	本商品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。	P144
ログアウト		
クリックすると本商品の設定画面からログアウトします。		

WAN/LAN（LAN 設定）

WAN（ルータモード時のみ）

WAN 側ポートの設定を行う画面です。

パラメータ	説明
IP アドレス取得方法	WAN 側の IP アドレスの取得方法を指定します。 （出荷時設定：インターネット＠スタートを行う）
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。 （出荷時設定：空欄）
DNS（ネーム）サーバアドレス	DNS サーバの IP アドレスを指定します。 （出荷時設定：プライマリ / セカンダリ共に空欄）
WAN 側 MAC アドレス	WAN 側インターフェースの MAC アドレスを設定します。 （出荷時設定：デフォルトの MAC アドレスを使用） ※ 不適切な MAC アドレスを設定すると、本商品だけでなく、ネットワーク上の他の機器も使用できなくなります。 この設定は、お客様の責任において行ってください。
WAN 側 MTU 値	WAN ポートの MTU(Maximum Transmission Unit) を 578 ～ 1500 バイトの範囲で設定します。 （出荷時設定：1500（バイト））

PPPoE（ルータモード時のみ）

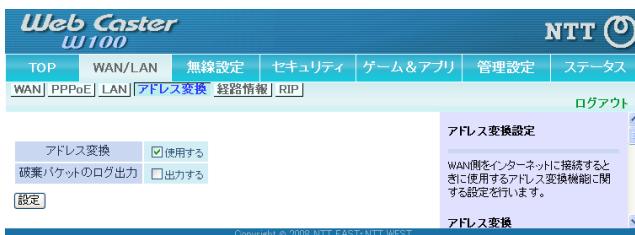
PPPoE に関する設定を行う画面です。

パラメータ	説明
デフォルトの接続先	「PPPoE 接続先リスト」で複数の接続先を登録している場合、ここで選択した接続先が優先されます。デフォルト以外の接続先を用いるときは、PPPoE の接続先経路設定を別途行う必要があります。 （出荷時設定：接続先なし）
IP Unnumbered 使用時の接続先	WAN ポートの「IP アドレス取得方法」で「IP Unnumbered を使用する」を指定した際に使用する接続先を、「PPPoE 接続先リスト」に登録されている接続先の中から選択します。 （ここで選択した接続先のみ、IP Unnumbered 時に使用されます） （出荷時設定：接続先なし）
PPPoE 接続先リスト	PPPoE の接続先の編集ができます。最大 5 セッションまで登録可能です。 （出荷時設定：接続先なし）
接続先の編集	クリックすると、接続先の設定を編集する画面が表示されます。

パラメータ	説明
PPPoE 接続先の新規追加	[接続先の編集]ボタンをクリックすると表示されます。 **接続先名称** 接続先を識別するための名称を入力します。 （半角英数字と記号で 32 文字まで設定できます） （出荷時設定：なし） **接続先ユーザ名** PPPoE の認証に使用するプロバイダ指定のユーザ名を設定します。（半角英数字と記号で 64 文字まで設定できます） （出荷時設定：なし） **接続先パスワード** PPPoE の認証に使用するプロバイダ指定のパスワードを設定します。（半角英数字と記号で 64 文字まで設定できます） （出荷時設定：なし） **サービス名** プロバイダからサービス名の指定がある場合のみ入力します。 プロバイダから指定されなければ、空欄のままにします。 半角英数字と記号で 64 文字まで入力することができます。 （出荷時設定：なし） **接続方法** 本商品がプロバイダに接続するタイミングを指定します。 （出荷時設定：常時接続） **自動切断** 接続方法が「オンデマンド接続」または「手動接続」のときに、通信が停止してから、回線の使用を停止するまでの時間を設定します。 (1440 分まで設定できます) （出荷時設定：切断条件「送受信ともにない場合」、待機時間「5 分」） **認証方法** プロバイダとの認証方法を設定します。 （出荷時設定：自動認証） **MTU 値** PPPoE 上で、通信を行うときに使用する MTU 値を 578 〜 1492 の範囲で設定します。 （出荷時設定：1454）

パラメータ	説明
	MRU 値 PPPoE 上で通信を行なう際に使用する MRU(Maximum Recive Unit) を 578 〜 1492 の範囲で設定します。TCP 通信時の MSS が「MRU-120」(ただし 4byte ごと) より大きい場合、「MRU-120」(ただし 4byte ごと) に置き換えます。 （出荷時設定：1454） **キープアライブ** キープアライブを有効にすると、本商品は PPPoE サーバとの接続を維持するために、LCP エコーリクエストを 1 分に 1 度発行します。このとき、6 分以上サーバの応答がない場合は、回線が切断されたものと判断し、接続をいったん切断します。頻繁に PPPoE 接続が切断される場合は、キープアライブに応答を返さないサーバである可能性があるため、「無効」に設定してください。 （出荷時設定：使用する）
接続先経路の表示	接続先経路を設定すると、設定した情報が表示されます。 （出荷時設定：接続先経路なし）
接続先経路の編集	クリックすると、接続先経路を編集する画面が表示されます。
接続先経路の新規追加	[接続先経路の編集]ボタンをクリックすると表示されます。 **接続先** 「宛先アドレス」や「送信元アドレス」が一致する通信の場合に PPPoE 接続を行なう接続先です。 PPPoE 接続先リストに登録されている接続先から選択します。 （出荷時設定：なし） **宛先アドレス** 通信の宛先アドレスです。このアドレス宛へ通信を行なうと、設定した「接続先」へ通信します。 （出荷時設定：なし） **送信元アドレス** 通信の送信元アドレスです。この送信元アドレスから通信を行なうと、設定した「接続先」へ通信します。 （出荷時設定：なし）

LAN

LAN 側ポートの設定を行う画面です。

パラメータ	説明
LAN 側 IP アドレス	LAN 側 IP アドレスとサブネットマスクを設定します。 （出荷時設定： 192.168.1.1 / 255.255.255.0（ルータモード時） 192.168.1.201 / 255.255.255.0（ブリッジモード時） 192.168.1.202 / 255.255.255.0（リピータモード時）
DHCP サーバ機能 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ（IP アドレス自動割り当て）機能を使用するかどうかを設定します。 （出荷時設定：使用する）
割り当て IP アドレス ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で割り当てる IP アドレスの範囲とその範囲から除外する IP アドレスを設定します。（256 台まで設定できます） （出荷時設定：「192.168.1.2」から「64 台」、除外 IP アドレス「なし」）
LAN 側 IP アドレス （IP Unnumbered 用） ※ルータモード時のみ	IP Unnumbered を利用するときに使用する LAN 側 IP アドレスを設定します。 ※ 通常の LAN 側の IP アドレスを持つパソコンと、IP Unnumbered 用の LAN 側の IP アドレスを持つパソコン間では通信を行うことができません。 （出荷時設定：なし）
拡張設定 ※ルータモード時のみ	「表示する」をクリックすると、DHCP サーバの拡張設定項目が表示されます。 （出荷時設定：表示しない）
リース期間 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で割り当てた IP アドレスの有効期間を設定します。（999 時間まで設定できます） （出荷時設定：48 時間）

パラメータ	説明
デフォルトゲートウェイの通知 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で通知するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。 （出荷時設定：Web Caster W100 の LAN 側 IP アドレス）
DNS サーバの通知 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で通知する DNS サーバの IP アドレスを設定します。 （出荷時設定：Web Caster W100 の LAN 側 IP アドレス）
WINS サーバの通知 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で通知する WINS サーバの IP アドレスを設定します。 （出荷時設定：通知しない）
ドメイン名の通知 ※ルータモード時のみ	DHCP サーバ機能で通知するドメイン名を設定します。 （半角英数字と「-」、「.」で 127 文字まで設定できます） （出荷時設定：取得済みのドメイン名）
デフォルトゲートウェイ ※ブリッジ / リピータモード時のみ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。 （出荷時設定：なし）
DNS（ネーム）サーバアドレス ※ブリッジ / リピータモード時のみ	DNS サーバの IP アドレスを設定します。 （出荷時設定：なし）

アドレス変換(ルータモード時のみ)

WAN 側をインターネットに接続するときに使用するアドレス変換機能に関する設定を行う画面です。

パラメータ	説明
アドレス変換	アドレス変換機能を使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用する)
破棄パケットのログ出力	アドレス変換時のエラーなどにより破棄されたパケットについてログ出力をするかどうかを設定します。 (出荷時設定:出力しない)

経路情報

本商品が行う通信の IP 経路の設定を行う画面です。

パラメータ	説明
宛先アドレス	ルーティングテーブルに追加する宛先 IP アドレスとサブネットマスクを設定します。 （出荷時設定：IP アドレス「空欄」、サブネットマスク「255.255.255.0」）
ゲートウェイ	ルーティングテーブルに追加するゲートウェイアドレスを設定します。 （出荷時設定：空欄）
メトリック	ルーティングテーブルに追加するメトリック（宛先アドレスまでに越えるルータ数）を設定します。（1 ～ 15 まで設定できます） （出荷時設定：15）
経路情報	手動で追加したルーティングテーブルを確認することができます。 （出荷時設定：なし）

RIP

RIP(Routing Information Protocol) の設定を行う画面です。

パラメータ	説明
WAN 側 RIP 送信 ※ルータモード時のみ	本商品が WAN 側に送信する RIP 情報の設定をします。 （出荷時設定：なし）
WAN 側 RIP 受信 ※ルータモード時のみ	本商品が WAN 側から受信する RIP 情報の設定をします。 （出荷時設定：なし）
LAN 側 RIP 送信 ※ルータモード時のみ	本商品が LAN 側に送信する RIP 情報の設定をします。 （出荷時設定：なし）
LAN 側 RIP 受信	本商品が LAN 側から受信する RIP 情報の設定をします。 （出荷時設定：RIP1 と RIP2 両方）

無線設定

AOSS

AOSS の詳細な設定や状況を確認する画面です。

パラメータ	説明
	このボタンをクリックすると､AOSS 接続を開始します。 （本体の AOSS ボタンを押したときと同じ動作となります）
	このボタンをクリックすると､AOSS 接続が解除されます。 （その際､SSID や暗号化キーも AOSS を使用する前の値に戻ります）
暗号化レベル	本商品が AOSS データの設定によって動作している時､手動で暗号化の種類を変更することができます。 ※ 設定を変更すると､本商品と無線機器との接続がいったん切断されます。 ※ 本商品をリピータとしてお使いの場合で､無線親機－本商品－無線機器間がすべて AOSS 接続の場合､暗号化レベルを上げることはできません。（暗号化レベルを下げることはできます） （出荷時設定：AOSS が設定されていないため､変更不可）
本体側 AOSS ボタン	AOSS ボタンが押された時に AOSS 設定を行うかどうかを指定します。 （出荷時設定：使用する）
AOSS 接続先情報 ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続した機器､および本商品と無線通信中の機器の情報が表示されます。 （出荷時設定：表示なし）

パラメータ	説明
接続先情報 ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の名称が表示されます。 （出荷時設定：表示なし）
MAC アドレス ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の MAC アドレスが表示されます。 （出荷時設定：表示なし）
対応暗号化方式 ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の対応可能な暗号化の種類が表示されます。 （出荷時設定：表示なし）
無線 ※ AOSS 接続時のみ	現在、接続している無線方式が表示されます。 （出荷時設定：表示なし）
接続設定 ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器に対して、現在接続を許可しているかどうかが表示されます。 （出荷時設定：表示なし）
AOSS 接続先情報の編集 ※ AOSS 接続時のみ	クリックすると AOSS 接続先情報の編集画面（接続禁止 / 情報削除）が表示されます。
現在のセキュリティ情報 ※ AOSS 接続時のみ	AOSS で使用している暗号化レベルとセキュリティ情報の詳細が本商品に実装している無線規格ごとに表示されます。 （出荷時設定：表示なし）
暗号化レベル ※ AOSS 接続時のみ	AOSS 接続によって設定された暗号化のレベルが表示されます。 （出荷時設定：表示なし）
SSID ※ AOSS 接続時のみ	AOSS 接続によって設定された SSID が表示されます。 （出荷時設定：表示なし）
暗号化キー ※ AOSS 接続時のみ	AOSS 接続によって設定された暗号化キーが表示されます。 （出荷時設定：表示なし）

基本

無線の基本的な設定を行う画面です。

パラメータ	説明
無線機能	無線機能を使用するかどうかを設定します。チェックマークを外すと、無線による通信ができなくなります。 （出荷時設定：使用する）
SSID	SSID を半角英数字で 1 ～ 32 文字までで設定します。 （出荷時設定：Web Caster W100 の MAC アドレスを設定）
無線チャンネル	無線で使用するチャンネル（周波数帯）を設定します。「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に空いているチャンネルが設定されます。 ※ 11a で 52、56、60、64 チャンネルを選択した場合、DFS（Dynamic Frequency Selection）により、気象レーダー等を検出すると、自動的に他の無線チャンネルへ変更されます。 無線チャンネル変更時は 1 分ほど無線通信が出来なくなります。 DFS により頻繁に無線通信が切断される場合は、48 以下のチャンネルに変更してご使用ください。 （出荷時設定：自動）
ANY 接続	無線機器からの ANY 接続を許可するかどうかを設定します。「許可しない」に設定すると、設定ユーティリティから本商品を検索することができなくなります。 ※ ANY 接続とは、無線機器の SSID を「ANY」に設定したときに、無線シグナルレベルが一番良い状態の無線親機を自動検出し、その無線親機に接続することです。 （出荷時設定：許可する）

アクセスポイント側(リピータモード時のみ)

アクセスポイントとの接続設定を行う画面です。

パラメータ	説明
SSID	接続先の無線親機の SSID を半角英数字で 1 ～ 32 文字までで設定します。 (出荷時設定:空欄)
MAC アドレス	接続先の無線親機の MAC アドレスを設定します。 (出荷時設定:空欄)
11a/11g 選択	無線親機との接続を 802.11a で行うか、802.11g で行うかを選択します。 (出荷時設定:11a のみ)
検索	クリックすると、周辺にある無線親機を検出します。 ※ ANY 接続を「許可しない」設定(P153)の無線親機は、検出することはできません。
無線の認証	無線親機との接続の際に使用する認証方式を指定します。 (出荷時設定:認証を行わない)
無線の暗号化	無線親機との接続の際に使用する暗号化の種類を以下から選択します。 (出荷時設定:暗号化なし) **暗号化なし** 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので 暗号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。 **WEP** WEP 暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。暗号化キーを使用して本商品と通信します。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。

<table>
<tr><th>パラメータ</th><th>説明</th></tr>
<tr><td></td><td>TKIP
暗号化の方式に TKIP（WEP をさらに強固にした方式）を使用します。事前共有キーを使用して無線親機と通信します。（通信速度は若干低下します。）
無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。
AES
暗号化の方式に AES（TKIP よりも強固な次世代暗号化方式）を使用します。事前共有キーを使用して無線親機と通信します。
無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。</td></tr>
<tr><td>WPA-PSK（事前共有キー）
※無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK を選択した場合のみ</td><td>無線親機との認証で使用する事前共有キーを入力します。
※ 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）を 8 ～ 63 文字で入力します。
16 進数入力の場合、0 ～ 9 および a ～ f（大文字 / 小文字の区別なし）の 64 桁で入力します。</td></tr>
<tr><td>WEP 暗号化キー設定
※無線の暗号化で WEP を選択した場合のみ</td><td>無線を暗号化する暗号化キーを入力します。
※ 暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）を 5 文字または 13 文字で入力します。
16 進数入力の場合、0 ～ 9 および a ～ f（大文字 / 小文字の区別なし）の 10 桁または 26 桁で入力します。</td></tr>
</table>

パソコン側(リピータモード時のみ)

パソコンとの接続設定を行う画面です。

パラメータ	説明
無線機能	本商品とパソコンとの接続に使用する無線機能の設定を選択します。 「アクセスポイント側の設定を利用する」を選択した場合は、「アクセスポイント側」(P115)で設定した値を引き継ぎます。 「手動で設定する」を選択した場合は、SSID と暗号化の設定を行います。 (出荷時設定:アクセスポイント側の設定を利用する)
SSID	本商品の SSID を半角英数字で 1 ～ 32 文字までで設定します。 (出荷時設定:Web Caster W100 の MAC アドレスを設定)
無線の認証	無線機器との接続の際に使用する認証方式を指定します。 (出荷時設定:認証を行わない)
無線の暗号化	無線機器との接続の際に使用する暗号化の種類を以下から選択します。 (出荷時設定:暗号化なし) **暗号化なし** 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので 暗号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。 **WEP** WEP 暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。暗号化キーを使用して無線機器と通信します。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。

パラメータ	説明
	TKIP 暗号化の方式に TKIP（WEP をさらに強固にした方式）を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。（通信速度は若干低下します。） 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。 **AES** 暗号化の方式に AES（TKIP よりも強固な次世代暗号化方式）を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。 **TKIP/AES mixedmode** TKIP と AES の認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。
WPA-PSK（事前共有キー） ※無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選択した場合のみ	無線機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。 ※ 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）を 8 ～ 63 文字で入力します。 16 進数入力の場合、0 ～ 9 および a ～ f（大文字 / 小文字の区別なし）の 64 桁で入力します。
Key 更新間隔 ※無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選択した場合のみ	通信用暗号化キーを更新する間隔を設定します。 （1440 分まで設定できます） （出荷時設定：60 分）
WEP 暗号化キー設定 ※無線の暗号化で WEP を選択した場合のみ	無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 ※ 暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）を 5 文字または 13 文字で入力します。 16 進数入力の場合、0 ～ 9 および a ～ f（大文字 / 小文字の区別なし）の 10 桁または 26 桁で入力します。

セキュリティ(ルータ / ブリッジモードのみ)

無線のセキュリティに関する設定を行う画面です。

パラメータ	説明
無線の認証	無線機器との接続の際に使用する認証方式を指定します。 (出荷時設定:認証を行わない)
無線の暗号化	無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 (出荷時設定:暗号化なし) **暗号化なし** 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので 暗号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。 **WEP** WEP 暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。暗号化キーを使用して無線機器と通信します。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。 **TKIP** 暗号化の方式に TKIP(WEP をさらに強固にした方式)を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。(通信速度は若干低下します。) 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。 **AES** 暗号化の方式に AES(TKIP よりも強固な次世代暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。 **TKIP/AES mixedmode** TKIP と AES の認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

パラメータ	説明
WPA-PSK（事前共有キー） ※無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選択した場合のみ	無線機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。 ※ 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）を 8 ～ 63 文字で入力します。 16 進数入力の場合、0 ～ 9 および a ～ f（大文字 / 小文字の区別なし）の 64 桁で入力します。
Key 更新間隔 ※無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選択した場合のみ	通信用暗号化キーを更新する間隔を設定します。 （1440 分まで設定できます） （出荷時設定：60 分）
WEP 暗号化キー設定 ※無線の暗号化で WEP を選択した場合のみ	無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 ※ 暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）を 5 文字または 13 文字で入力します。 16 進数入力の場合、0 ～ 9 および a ～ f（大文字 / 小文字の区別なし）の 10 桁または 26 桁で入力します。

拡張

無線の拡張設定を行う画面です。

パラメータ	説明
無線チャンネル ※リピータモード時のみ	無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に空いているチャンネルが設定されます。 (出荷時設定:自動)
BSS BasicRateSet	本商品と無線機器が制御通信するときの通信速度を設定します。 (出荷時設定:11a「6、12、24Mbps」、11g「1、2、5.5、11Mbps」)
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。 (出荷時設定:自動)
フレームバースト	無線パケットを連続して送信することにより、ネットワーク利用の効率を高め、無線の実効速度を高速化します。設定は、以下の 3 つから選択できます。 (出荷時設定:使用しない) **使用しない** 無線の実行速度を高速化しません。 **フレームバースト** 無線パケットを連続して送信することにより、ネットワーク利用の効率を高め、無線 LAN の実効速度を高速化します。

パラメータ	説明
	フレームバースト EX フレームバースト機能に加え、ショートスロット、NACK エラー検知、CRAM プロトコルにより、無線の実行速度をさらに高速化します。 ※ フレームバーストやフレームバースト EX 機能を十分に活用するには、それぞれの機能に対応した無線子機が必要です。 ※「使用する」の状態でも、フレームバーストやフレームバースト EX 機能に対応していない無線子機と通信できます。ただし、通信に問題がある場合は無効にしてください。
802.11g プロテクション ※ 802.11g のみ	「使用する」にすると、IEEE802.11b・IEEE802.11g 混合の環境での IEEE802.11g の通信速度低下を軽減します。上記の環境で、IEEE802.11g の通信速度が遅い場合に使用してください。 （出荷時設定：使用する）
DTIM Period	無線機器に通知するビーコン応答間隔（1 ～ 255）の設定をします。 無線機器のパワーマネージメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。 （出荷時設定：1）
プライバシーセパレータ	無線機器間の通信を許可するかどうかを設定します。「使用する」に設定すると、同一の無線親機に接続している無線機器同士の通信ができなくなります。 ※ 有線側からは、無線機器と通信できます。 （出荷時設定：使用しない）
送信出力	無線電波の出力を設定します。無線送信出力と電波の到達距離は、ほぼ比例するため、無線送信出力を低くした場合、到達距離も短くなります。 （出荷時設定：100%）
ANY 接続 ※リピータモード時のみ	無線機器からの ANY 接続を許可するかどうかを設定します。「許可しない」に設定すると、設定ユーティリティから本商品を検索することができなくなります。 ※ ANY 接続とは、無線機器の SSID を「ANY」に設定したときに、無線シグナルレベルが一番良い状態の無線親機を自動検出し、その無線親機に接続することです。 （出荷時設定：許可する）

WMM

本商品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。

パラメータ	説明
WMM	本商品が行う通信で、特定の通信にのみ優先順位を付ける設定を行います。 B フレッツ / フレッツ・光プレミアム向けの優先制御を行う「B フレッツ / フレッツ・光プレミアム用パラメータ」、フレッツ 光ネクスト向けの優先制御を行う「フレッツ 光ネクスト用パラメータ」、WMM-EDCA パラメータで設定された値を用いて優先制御を行う「WMM 標準パラメータ」の 3 つから選択することができます。 (出荷時設定:B フレッツ / フレッツ・光プレミアム用パラメータ)

パラメータ	説明
WMM-EDCA パラメータ ※ WMM で「WMM 標準パラメータ」を選択した場合のみ有効	一般的な使い方では、この値を変更する必要はありません。 出荷時設定値は以下の通りです。

優先度	パラメータ	AP 初期値	STA 初期値
AC_BK（低い）	CWmin	15	15
	CWmax	1023	1023
	AIFSN	7	7
	TXOP Limit	0	0
	Admission Control	-----	無効
AC_BE（通常）	CWmin	15	15
	CWmax	63	1023
	AIFSN	3	3
	TXOP Limit	0	0
	Admission Control	-----	無効
AC_VI（優先）	CWmin	7	7
	CWmax	15	15
	AIFSN	1	2
	TXOP Limit	94	94
	Admission Control	-----	無効
AC_VO（最優先）	CWmin	3	3
	CWmax	7	7
	AIFSN	1	2
	TXOP Limit	47	47
	Admission Control	-----	無効

パラメータ	説明
	優先度 優先度は、通信パケットごとに適用され、(Highest) 8 : (High) 4 : (Normal) 2 : (Low) 1 の割合で優先的に処理されます。 **CWmin, CWmax** コンテンション・ウィンドウの最大値・最小値です。コンテンション・ウィンドウは IEEE802.11 で行うフレーム衝突回避機構で使用され、一般にウィンドウ内の値が小さくなるほど、そのキューが送信権を得る確率が高くなります。 **AIFSN** フレーム送信間隔です。単位はスロット (CWmin, CWmax で定義されるウィンドウ値と同様) です。フレーム送信間隔が小さいほど、バックオフアルゴリズムの開始時間が早まるため、結果としてキューの優先度が高くなります。 **TXOP Limit** キューが送信権を得た場合に占有できる時間を示します。1 単位は 32ms です。この時間が多いほど一度得た送信権でより多くのフレームを転送することができますが、反面キューのリアルタイム性を損なうことになります。TXOP Limit を 0 に設定した場合は、1 回の送信権で 1 つのフレームのみ送信できます。 **Admission Control** キューに対して送信フレームの割り当て制限を行います。キューがある程度蓄積されると、新たに送信フレームが割り当てられるときに下位のキューを割り当てるようになります。

MAC アクセス制限

無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。

パラメータ	説明
無線パソコンの接続	無線機器からの接続を制限するかどうかを設定します。 (出荷時設定:制限しない)
登録リスト	MAC アクセス制限で、接続を許可する無線機器の MAC アドレスが表示されます。 (出荷時設定:なし)
登録リストの編集	クリックすると、接続を許可する無線機器の MAC アドレスを登録する画面が表示されます。
登録する MAC アドレス	接続を許可する無線機器の MAC アドレスを入力します。[新規追加]をクリックすると、MAC アドレスがリストに登録されます。 (出荷時設定:なし)
検出された無線パソコン一覧	本商品に接続している無線機器の MAC アドレス一覧が表示されます。 (出荷時設定:なし)

セキュリティ（ルータモード時のみ）

ファイアウォール設定（ルータモード時のみ）

本商品のファイアウォール機能を設定する画面です。

パラメータ	説明
ログ出力	ファイアウォール機能のログを出力するかどうかを設定します。 （出荷時設定：使用しない）
簡易ルール	簡易フィルタを使用するかどうかを設定します。 各フィルタの内容は以下の通りです。 **NBT と Microsoft-DS のルーティングを禁止する** 有効にすると、WAN 側から LAN 側および LAN 側から WAN 側への Microsoft ネットワーク共有機能は使用できなくなります。 WAN 側 IP アドレス取得方法（P103）で「PPPoE クライアント機能を使用する」「IP Unnumbered を使用する」を選択している場合や、「インターネット＠スタートを行う」を選択していて判別結果が PPPoE だった場合に限り、PPPoE の接続先ごとに設定を行うことができます。 （出荷時設定：無効） **IDENT の要求を拒否する** 有効にすると、WAN 側からの IDENT の認証要求に対して拒否パケットを送ります。 メール送信、ftp、ブラウザ等のネットワークアプリケーションの通信が遅くなる場合に設定してください。 アドレス変換設定で、IDENT の要求を LAN 側パソコンに転送する設定（DMZ または TCP ポート :113）になっている場合、そちらの設定が優先され、この設定を有効にしても機能は動作しません。 （出荷時設定：有効）

パラメータ	説明
	WAN 側からの PING に応答しない 有効にすると、WAN 側からの PING に応答しなくなります。 WAN 側 IP アドレス取得方法(P103)で「PPPoE クライアント機能を使用する」「IP Unnumbered を使用する」を選択している場合や、「インターネット@スタートを行う」を選択していて判別結果が PPPoE だった場合に限り、PPPoE の接続先ごとに設定を行うことができます。 (出荷時設定:有効)

IP フィルタ（ルータモード時のみ）

LAN 側と WAN 側の間で通過するパケットに関する IP フィルタの編集を行う画面です。

パラメータ	説明
ログ出力	IP フィルタ機能のログを出力するかどうかを設定します。 （出荷時設定：使用しない）
動作	対象となるパケットの処理方法を指定します。 （出荷時設定：無視）
方向	対象となるパケットの通信方向を指定します。 （出荷時設定：WAN → LAN）
IP アドレス	対象となるパケットの送信元 IP アドレスと 宛先 IP アドレスを指定します。 （出荷時設定：空欄）
プロトコル	対象となる通信パケットのプロトコルを選択します。 （出荷時設定：TCP/UDP）
IP フィルタ登録情報	登録されている IP フィルタを一覧で表示します。 （出荷時設定：なし）

IPv6/PPPoE ブリッジ･VPN パススルー（ルータモード時のみ）

IPv6/PPPoE ブリッジ･VPN パススルーに関する設定を行う画面です。

パラメータ	説明
フレッツ IPv6 サービス対応機能（IPv6 ブリッジ）	アドレス変換においてフレッツ IPv6 サービス対応機能を使用するかどうかを設定します。フレッツ IPv6 サービス対応機能は NTT 東日本のフレッツ･ドットネットおよび NTT 西日本のフレッツ･v6 アプリを利用する場合に必要となります。 （出荷時設定：使用する） ※ ブロードバンド映像サービスを使用していない場合は、OFF にしてください。
PPPoE ブリッジ機能	PPPoE ブリッジ機能を使用するかどうかを設定します。 PPPoE ブリッジ機能を使用すると、PPPoE のパケットが WAN と LAN の間ですべて通過可能となり、LAN 側に接続したパソコンで PPPoE プロトコルを使用してプロバイダから IP アドレスを自動取得することができるようになります。 （出荷時設定：使用しない）
IPsec パススルー	IPsec パススルー機能を使用するかしないかの設定を行います。 IPsec パススルーを使用すると、Security Gateway 間で送受信される IPsec パケット (ISAKMP パケットおよび ESP パケット) をスルーさせることができるようになり、アドレス変換を介した IPsec 通信が可能になります。 （出荷時設定：使用しない） ※ IPsec パススルーは ESP トンネルモードのみの対応です。トランスポートモードやその他の IPsec 仕様には対応しておりません。 ※ NAT Traversal 機能を使った Security Gateway を使用する際は、「使用しない」に設定してください。
PPTP パススルー	アドレス変換において PPTP パススルー機能を使用するかどうかを設定します。 （出荷時設定：使用しない）

ゲーム＆アプリ（ルータモード時のみ）

ポート変換（ルータモード時のみ）

ポート変換に関する設定を行う画面です。

パラメータ	説明
グループ	登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択して、新規グループ名を「新規追加」欄に入力すると、新たなグループを作成します。半角英数字で 16 文字までのグループ名を付けることが可能です。 （出荷時設定：空欄）
WAN 側 IP アドレス	ポート変換テーブルに追加する WAN 側（変換前）の IP アドレスを設定します。 （出荷時設定：Web Caster W100 の WAN 側 IP アドレス）
プロトコル	ポート変換テーブルに追加する WAN 側（変換前）のプロトコルを設定します。 （出荷時設定：TCP/UDP）
LAN 側 IP アドレス	ポート変換テーブルに追加する LAN 側（変換後）の IP アドレスを設定します。 （出荷時設定：現在設定を行っているパソコンの IP アドレス）

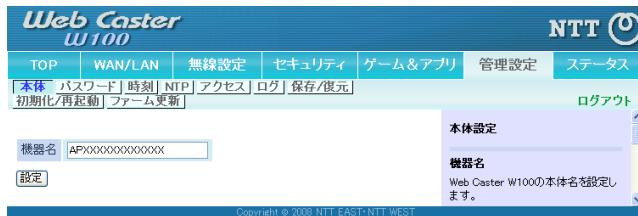
パラメータ	説明
LAN 側ポート	ポート変換テーブルに追加する LAN 側(変換後)のポート番号(1 ～ 65535)を設定します。 (出荷時設定:空欄)
ポート変換登録情報	現在、設定されているポート変換テーブルの有効 / 無効の指定を行います。 (出荷時設定:登録なし)

DMZ(ルータモード時のみ)

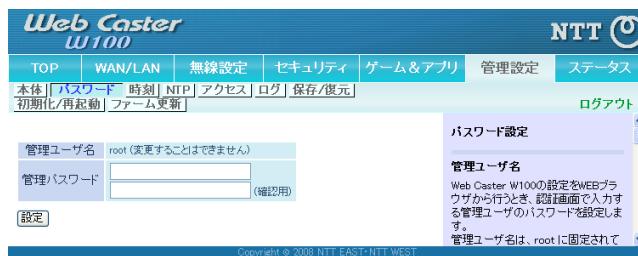
LAN 側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。

パラメータ	説明
DMZ のアドレス	ポート変換テーブルに設定されていないパケットの転送先の IP アドレスを設定します。(RIP プロトコル(UDP ポート番号 520)のパケットは、転送されません) (出荷時設定:空欄)

UPnP（ルータモード時のみ）

UPnP（Universal Plug and Play）に関する設定を行う画面です。

パラメータ	説明
UPnP 機能	Universal Plug and Play（UPnP）機能を使用するかどうかを設定します。 （出荷時設定：使用する）

管理設定

本体

本商品の名称を設定する画面です。

パラメータ	説明
機器名	本商品の名称を設定します。(半角英数字と「-」で、64 文字まで入力できます) （出荷時設定："AP"+ 本商品の LAN MAC アドレス）

パスワード

本商品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。

パラメータ	説明
管理ユーザ名	本商品の設定画面へログインするときのユーザ名です。「root」以外に変更できません。 （出荷時設定：root）
管理パスワード	本商品の設定画面へログインするときのパスワードです。(半角英数字と「_」で、8 文字まで入力できます) （出荷時設定：設定なし）

時刻

本商品の内部時計を設定する画面です。

パラメータ	説明
日付	本商品の内部時計の日付を手動で設定します。 （出荷時設定：2008 年 1 月 1 日）
時刻	本商品の内部時計の時刻を手動で設定します。 （出荷時設定：0 時 0 分 0 秒）
タイムゾーン	本商品の内部時計のタイムゾーン（グリニッジ標準時からの時差）を指定します。 （出荷時設定：（GMT+09:00）東京、大阪、ソウル）

NTP

本商品の内部時計を NTP サーバと同期するための設定を行う画面です。

パラメータ	説明
NTP 機能	本商品の内部時計を NTP サーバを使って設定するかどうかを指定します。 (出荷時設定:使用しない)
サーバ名	NTP サーバの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IP アドレスのいずれかで設定します。 (半角英数字と「.」「-」で 255 文字まで入力できます) (出荷時設定:設定なし)
確認時間	NTP サーバに時刻を問い合わせる周期を設定します。 (1 ～ 24 時間毎で設定します) (出荷時設定:24 時間毎)

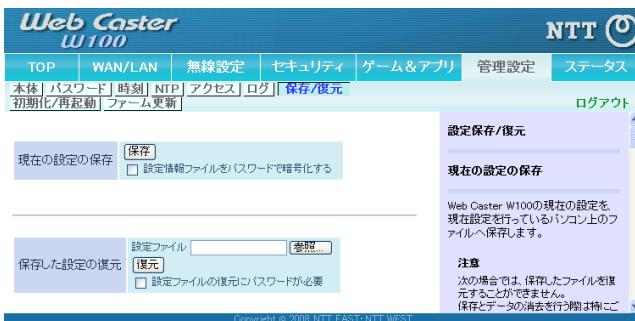
アクセス

本商品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。

パラメータ	説明
ログ出力	管理アクセス設定のログを出力するかどうかを設定します。 （出荷時設定：使用しない）
無線 LAN からの設定を禁止する	本商品の設定画面を無線機器から表示できないようにします。 （出荷時設定：無効）
有線 LAN からの設定を禁止する	本商品の設定画面を有線 LAN ポートに接続された機器から表示できないようにします。 （出荷時設定：無効）
WAN 側リモートアクセス設定を許可する	WAN に接続されたネットワーク機器から、本商品の設定画面へのアクセスを制限するかどうかどうかを設定します。 （出荷時設定：無効）
許可 IP アドレス	「WAN 側リモートアクセス設定を許可する」にチェックマークをつけると表示されます。 WAN 側からのリモートアクセスを許可する IP アドレスを設定します。 （出荷時設定：空欄）
許可ポート	「WAN 側リモートアクセス設定を許可する」にチェックマークをつけると表示されます。 WAN 側から本商品の設定をする場合のポート番号（1 ～ 65535）を設定します。 （出荷時設定：空欄）

ログ

syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。

パラメータ	説明
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。 （出荷時設定：使用しない）
syslog サーバ	syslog サーバのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IP アドレスのいずれかで設定します。 （半角英数字と「.」「-」で 255 文字まで入力できます） （出荷時設定：設定なし）
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。 （出荷時設定：ルータモード時： アドレス変換、IP フィルタ、ファイヤウォール、PPPoE クライアント、DHCP クライアント、DHCP サーバ、AOSS、無線クライアント、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク ブリッジ / リピータモード時： IP フィルタ、DHCP クライアント、AOSS、無線クライアント、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク）

保存 / 復元

本商品の設定を保存したり、設定ファイルから設定を復元する画面です。

パラメータ	説明
現在の設定の保存	[保存]をクリックすると、本商品の現在の設定をファイルに保存します。「設定情報ファイルをパスワードで暗号化する」にチェックマークをつけると、設定情報ファイルに管理パスワード（P134）をつけて保存します。
保存した設定の復元	[参照]で設定ファイルを指定して[復元]をクリックすると、保存された設定ファイルから、本商品の設定を復元します。設定ファイルにパスワードが設定されている場合は、「設定ファイルの復元にパスワードが必要」にチェックマークをつけてください。

初期化 / 再起動

本商品を初期化したり、再起動するための画面です。

パラメータ	説明
再起動	クリックすると、本商品が再起動します。
設定初期化	クリックすると、本商品の設定が初期化され、再起動します。

ファーム更新

本商品のファームウェアを更新するための画面です。

パラメータ	説明
ファームウェアバージョン	本商品の現在のファームウェアバージョンが表示されます。
ファームウェアファイル名	[参照]でファームウェアファイルを指定し、[更新実行]をクリックするとファームウェアが更新されます。 [参照]でファームウェアファイルを指定し、[バージョン確認]をクリックするとファームウェアファイルのバージョンを確認することができます。(バージョン確認後は、本商品が再起動します)

ステータス

システム

本商品のシステム情報を確認する画面です。

パラメータ	説明
製品名	本商品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
機器名	機器名（P134）が表示されます。
動作モード	現在の本商品の動作モードが表示されます。
WAN	WAN ポートの情報が表示されます。
LAN	LAN ポートの情報が表示されます。
無線	802.11a および 802.11g の無線の状態が表示されます。

ログ

本商品に記録されているログ情報を確認する画面です。

パラメータ	説明
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。 （出荷時設定：ルータモード時： アドレス変換、IP フィルタ、ファイヤウォール、PPPoE クライアント、DHCP クライアント、DHCP サーバ、AOSS、無線クライアント、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク ブリッジ / リピータモード時： IP フィルタ、DHCP クライアント、AOSS、無線クライアント、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク）
ログ情報	本商品記録されているログ情報が表示されます。 （出荷時設定：なし）

通信パケット

本商品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

パラメータ	説明
送信パケット数	LAN 側有線、WAN 側有線、LAN 側無線（802.11g および 802.11a）に送信したパケット数が表示されます。
受信パケット数	LAN 側有線、WAN 側有線、LAN 側無線（802.11g および 802.11a）から受信したパケット数が表示されます。

クライアントモニタ

本商品と通信している機器を確認する画面です。

パラメータ	説明
クライアントモニタ	本商品と通信している機器の情報（MAC アドレス、リース IP アドレス、ホスト名、通信方式、無線認証、フレームバースト EX）が表示されます。

診断

本商品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。

パラメータ	説明
宛先アドレス	接続確認を行う機器の IP アドレス、またはホスト名を設定し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。(出荷時設定:空欄)

6 本商品の各種設定

AOSS 接続で設定した暗号を確認する

AOSS 接続で設定された内容(SSID や暗号化設定)は、本商品の設定画面で確認することができます。

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、 をクリックします。

3　AOSS 接続で設定された内容(SSID や暗号化設定)が表示されます。

ワンポイント

「AOSS 動作設定」欄の「暗号化レベル」が TKIP や AES になっている場合、TKIP/AES に対応していない無線機器と通信することができません。その場合は、「AOSS 接続で設定された暗号化レベルを変更する」(P147) を参照して、本商品の暗号化レベルを変更すると通信が可能になります。

以上で設定内容の確認は完了です。

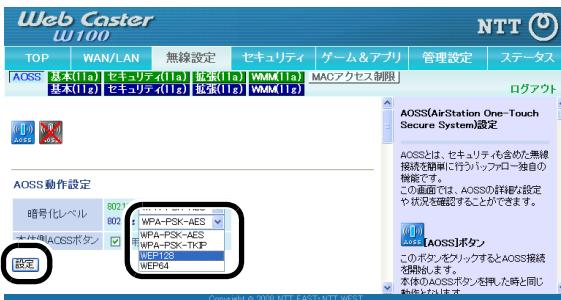
AOSS 接続で設定された暗号化レベルを変更する

AOSS 接続で設定された暗号化レベルは、以下の手順で変更することができます。

ワンポイント

- 例えば、AOSS 接続で本商品の暗号化レベルが「AES」に設定された場合、「AES」に対応していない無線機器からは、本商品に接続できなくなります。その場合、本商品の暗号化レベルを「WEP」に変更することで、それらの無線機器も接続できるようになります。
- 暗号化レベルの対応については、ご使用になる無線機器の取扱説明書を参照してください。

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、AOSS をクリックします。

3 変更したい無線方式(802.11a または 802.11g)の暗号化レベルを変更し、[設定]をクリックします。

ワンポイント

無線機器から設定を行っている場合は、暗号化レベルを変更すると、本商品との接続が一時的に切断され、しばらくすると、再接続されて、通信できるようになります。

以上で設定は完了です。

AOSS 接続を無効にする

SSID や暗号化の設定を任意のものに変更する場合は、AOSS 接続を無効にする必要があります。
ここでは、AOSS 接続を無効にする手順を説明します。

お知らせ

- 無線機器から設定した場合は、すべての無線機器が、いったん本商品に接続できなくなります。その場合は、各無線機器の取扱説明書を参照して、接続し直してください。
- AOSS を無効にすると、AOSS 接続先情報が削除され、SSID や暗号化キーも AOSS を使用する前の値に戻りますのでご注意ください。

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、 をクリックします。

3　をクリックします。

以上で設定は完了です。

無線チャンネルを変更する

本商品の場合、電波混雑防止機能により、他の無線機器が使用していないチャンネルを検索して自動的に割り当てるため、通常はチャンネルを設定する必要はありません。
ただし周囲に多くの無線機器がある場合、チャンネルが正しく設定されず、電波干渉が発生して転送速度が低下してしまうことがあります。その場合は、以下の手順で手動でチャンネルを設定してください。

お知らせ

- 設定するチャンネルによっては、他の無線機器と電波干渉を起こすことがあります。
- 隣接する無線機器に異なるチャンネルを設定するとき、隣りあったチャンネルなどの近い周波数では、互いに干渉し転送速度が低下してしまうことがあります。

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、「かんたん設定」より「無線の基本設定をする」をクリックします。

3 変更したい無線方式(802.11a または 802.11g)の無線チャンネルを選択して[設定]をクリックします。

お知らせ

802.11g のチャンネルを設定する場合は、隣接する無線機器と干渉しないよう、4 チャンネル以上間隔をあけて設定してください。

4 [設定完了]をクリックします。

ワンポイント

無線機器から設定を行っている場合は、本商品との接続が一時的に切断されます。しばらくすると、自動的に無線親機に再接続され、通信できるようになります。

以上で設定は完了です。

無線子機から本商品を検索できなくする（ANY 接続拒否）

本商品に無線で接続するには、SSID と暗号化キーの 2 つが必要です。一般に SSID は、ユーティリティを使って特定することができるため、暗号化キーを設定していない場合、外部からの不正アクセスを受けることがあります。
以下の設定をおこなうと、ユーティリティによる SSID の特定ができなくなるため、SSID を知っている方のみ接続できるようになります。

お知らせ

- AOSS 接続で本商品に無線子機（パソコン）を接続している場合、すでに暗号化の設定がされているため、ANY 接続拒否の設定は必要ありません。暗号化の設定をしない場合や、手動で暗号化を設定している場合は、以下の手順で ANY 接続拒否の設定をすることができます。
- AOSS と ANY 接続拒否は同時に使用できません。ANY 接続拒否を設定する場合は、「AOSS 接続を無効にする」(P149) を参照して本商品の AOSS を無効にしてください。また、ANY 接続拒否の設定を行った後に AOSS を有効にすると、ANY 接続が「許可」に設定変更されます。あらかじめご了承ください。

1 AOSS 接続を行っている場合は、「AOSS 接続を無効にする」(P149) を参照して、本商品の AOSS 接続を無効にします。

2 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

3 設定画面が表示されたら、[無線設定] をクリックします。

4 ANY 接続の設定をする無線規格（802.11a または 802.11g）の[基本]をクリックします。

5 ANY 接続の[許可する]をクリックし、チェックマークを外して[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

アクセス可能な無線機器を制限する（MAC アクセス制限）

本商品に接続する無線機器の MAC アドレスをあらかじめ登録しておき、その機器のみ本商品へのアクセスを許可することができます。
設定は以下の手順で行います。

AOSS と MAC アクセス制限は同時に使用できません。MAC アクセス制限を設定する場合は、「AOSS 接続を無効にする」(P149) を参照して本商品の AOSS を無効にしてください。

1 AOSS 接続を行っている場合は、「AOSS 接続を無効にする」(P149)を参照して、本商品の AOSS 接続を無効にします。

2 「設定画面を表示する」(P95)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

3 設定画面が表示されたら、[無線設定]をクリックします。

4　[MAC アクセス制限]をクリックします。

5　[登録リストの編集]をクリックします。

6 無線で接続できる機器と、接続できない機器を指定します。

「検出された無線パソコン一覧」には、現在接続されている無線機器の MAC アドレスが表示されています。ここで、接続可能にする機器の MAC アドレスのみを[登録]をクリックして登録します。

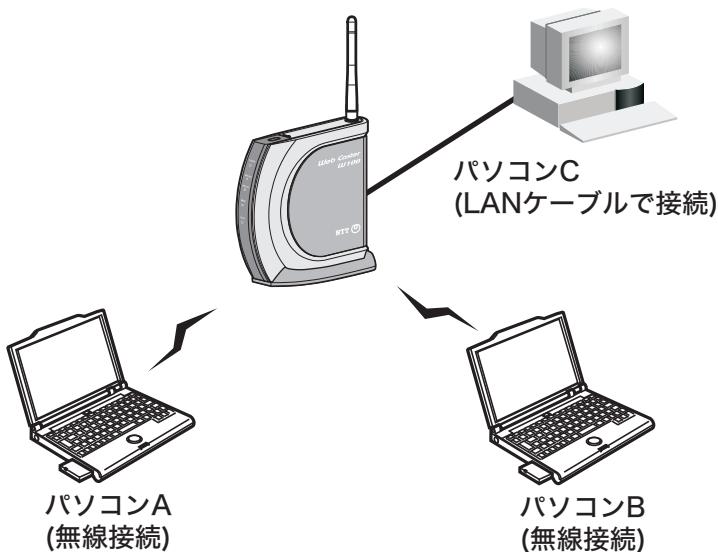
「検出された無線パソコン一覧」に表示されていない機器を登録する場合は、「登録する MAC アドレス」欄に接続する機器の MAC アドレスを入力し、[新規追加]をクリックします。
MAC アドレスを入力するときは、2 桁ずつコロン (:) で区切って入力します。
登録できる MAC アドレスは 64 個までです。

7 登録が終わったら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

8 アクセスを制限したい無線方式(802.11a または 802.11g)の「制限する」をクリックしてチェックマークをつけ、[設定]をクリックします。

9 「無線パソコンの MAC アクセス制限を有効にします」と表示されたら、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

無線機器同士の通信を禁止する（プライバシーセパレータ）

プライバシーセパレータ機能を使用すると、本商品に接続している無線機器同士のアクセス（共有フォルダ等へのアクセス）を禁止することができます。

ワンポイント

本商品に LAN ケーブルを使って接続している機器がある場合は、プライバシーセパレータを有効にしても、アクセスを禁止することはできません。
例えば、以下の図のような接続の場合、プライバシーセパレータを有効にすることで、パソコン A-B 間で共有フォルダへのアクセスはできなくなりますが、パソコン A-C 間やパソコン B-C 間はアクセス可能となります。

1　「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[無線設定]をクリックします。

3 プライバシーセパレータを設定したい無線方式（802.11a または 802.11g）の[拡張]をクリックします。

4 「プライバシーセパレータ」欄の「使用する」をクリックしてチェックマークをつけ、[設定]をクリックます。

以上で設定は完了です。

ポートを開放する

ポート変換設定を行うと、インターネットゲームを楽しんだり各種サーバ公開することができます。

お知らせ

- 本商品をブリッジ / リピータモードでお使いの場合、ポートを開放するための設定は、通常、ルータや CTU(加入者網終端装置)側にて行います。それらの機器の取扱説明書を参照し、必要な設定を行ってください。その場合、本商品の設定変更(下記の設定)は必要ありません。
- サーバを公開する場合、固定グローバル IP アドレスの取得およびプロバイダと別途契約が必要な場合があります。

以降の手順はお使いの環境によって異なります。

- ネットワークゲームや各種サーバを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合 (P162)
- 利用するポート番号が不明な場合 (P165)

ネットワークゲームや各種サーバを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[ゲーム&アプリ]をクリックします。

3 各項目を設定し、[新規追加]をクリックします。

グループ:
登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択すると、新たなグループを作成し、そのグループに追加されます。新規追加時には半角英数字で 16 文字までのグループ名を付けることが可能です。

WAN 側 IP アドレス:
公開する各種サーバの固定グローバル IP アドレスを設定します。
WAN 側 IP アドレスを PPPoE サーバから取得している場合は各 PPPoE 接続先の WAN 側 IP アドレスを設定します。
手動設定を選択したときは、手動設定欄に IP アドレスを指定する必要があります。
プロバイダから複数の固定グローバルIPアドレス指定を受けている場合には、「手動設定」で本商品の WAN 側 IP アドレスに設定してあるアドレス以外のグローバル IP アドレスを設定することが可能です。

プロトコル:
アドレス変換機能を使用するポートの種類を選択します。[TCP/UDP]を選択したときは、ポートを設定します。

LAN 側 IP アドレス:
インターネットからのアクセスの宛先となるプライベート IP アドレスを設定します。

LAN 側ポート:
変換プロトコルで TCP/UDP を指定し、単独のポート番号を指定したときは、LAN 側のポート番号を変更することができます。

以上の設定の組み合わせにより、最大 32 種類の組み合わせを設定できます。

ワンポイント

WWW（HTTP）サーバを公開する場合は、以下のように設定すると、インターネットからのアクセスを任意の LAN 側の WWW サーバ IP アドレスに転送できます。

グループ：
任意の名称（例：group1）を入力します。

WAN 側 IP アドレス：
［Web Caster W100 の WAN 側 IP アドレス］を選択します。

プロトコル：
TCP/UDP を選択し、［HTTP（TCP ポート：80）］を選択します。
（任意の TCP/UDP ポートは空欄）

LAN 側 IP アドレス：
サーバ IP アドレス（例：192.168.1.210）を入力します。

LAN 側ポート：
空欄にします。

4　設定内容が登録されていることを確認します。

以上で設定は完了です。

利用するポート番号が不明な場合

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[ゲーム＆アプリ]をクリックします。

3 [DMZ]をクリックします。

4　DMZ のアドレスを設定し、[設定]をクリックします。

DMZ のアドレス：
インターネット側から送られてきたデータの宛先ポートが不明な場合に、そのデータが転送される LAN 上の IP アドレス（DMZ アドレス）を 1 つ設定します。ここで設定された IP アドレスの機器でのみ、ネットワークゲームなどを利用できます。

お知らせ

- ポート変換の設定で[LAN 側 IP アドレス]を設定した場合は、そちらの設定が優先されます。
- DMZ を使用する場合は、機器側の IP アドレスをここで設定した値に固定する必要があります。
- 使用するソフトや契約しているプロバイダによっては、DMZ を設定してもソフトウェアが動作しない場合があります。
- DMZ に設定した機器は、他のパソコンに比べてセキュリティが低下するため、重要なデータなどをその機器に保存しないことをおすすめします。
- また、安全のため、ファイアウォールの設定画面（P127）で、「NBT と Microsoft-DS のルーティングを禁止する」を有効にしておくことをおすすめします。

以上で設定は完了です。

フレッツ・スクウェアの設定をする

本商品は、PPPoE マルチセッション機能に対応しています。PPPoE マルチセッション機能を使用すると、1 つの回線契約でプロバイダとフレッツ･スクウェアに同時に接続できます。
また、2 つ以上のプロバイダに同時に接続することも可能です。ここでは例として、PPPoE マルチセッション機能を使ってプロバイダとフレッツ･スクウェアに同時に接続する設定を説明します。

お知らせ

- PPPoE マルチセッション機能を使用するには、セッション数が 2 つ以上ある回線が必要です。詳しくは、当社 116 にお問い合わせください。
- 本商品をブリッジ / リピータモードでお使いの場合、フレッツ･スクウェアを利用するための設定は、通常、ルータや CTU（加入者網終端装置）側にて行います。それらの機器の取扱説明書を参照し、必要な設定を行ってください。その場合、本商品の設定変更（下記の設定）は必要ありません。

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[インターネット接続を行う]をクリックします。

3　回線の自動判別が行われますので、画面が切り替わるまで、しばらく待ちます。

4　[自分で設定を行う]をクリックします。

5　[手動で設定を行う(ルータモード)]をクリックします。

お知らせ

[ルータモード OFF]を選択すると、フレッツ・スクウェアに接続できませんのでご注意ください。

6 [パスワード、ユーザ名を指定して PPPoE 接続を行う]をクリックします。

7 NTT 東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地区)にお住まいの方は[NTT 東日本]、NTT 西日本エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)にお住まいの方は[NTT 西日本]を選択し、[進む]をクリックします。

8 画面に「接続成功です」と表示されたら、[設定完了]をクリックします。

9 Internet Explorer（または Safari）を起動します。

ワンポイント

- Windows Vista/XP をお使いの場合は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Windows 2000 をお使いの場合は、[スタート]－[プログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Mac OS X をお使いの場合は、[Macintosh HD]－[アプリケーション]－[Safari]の順にクリックします。

10 アドレス欄に「www.flets」と入力し、<Enter> キーを押します。

11 フレッツ・スクウェアのページが表示されます。

以上で設定は完了です。

フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトの設定をする

本商品は、PPPoE マルチセッション機能に対応しています。PPPoE マルチセッション機能を使用すると、1 つの回線契約でプロバイダとフレッツ 光ネクスト サービス情報サイトに同時に接続できます。
また、2 つ以上のプロバイダに同時に接続することも可能です。ここでは例として、PPPoE マルチセッション機能を使ってプロバイダとフレッツ 光ネクスト サービス情報サイトに同時に接続する設定を説明します。

お知らせ

- PPPoE マルチセッション機能を使用するには、セッション数が 2 つ以上ある回線が必要です。詳しくは、当社 116 にお問い合わせください。
- 本商品をブリッジ / リピータモードでお使いの場合、フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトを利用するための設定は、通常、ルータ側にて行います。それらの機器の取扱説明書を参照し、必要な設定を行ってください。
  その場合、本商品の設定変更（下記の設定）は必要ありません。

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[インターネット接続を行う]をクリックします。

3　回線の自動判別が行われますので、画面が切り替わるまで、しばらく待ちます。

4　[自分で設定を行う]をクリックします。

5　[手動で設定を行う(ルータモード)]をクリックします。

お知らせ

[ルータモード OFF]を選択すると、フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトに接続できませんのでご注意ください。

6 [パスワード、ユーザ名を指定して PPPoE 接続を行う]をクリックします。

7 NTT 東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地区)にお住まいの方は[NTT 東日本]、NTT 西日本エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)にお住まいの方は[NTT 西日本]を選択し、[進む]をクリックします。

8　画面に「接続成功です」と表示されたら、[設定完了]をクリックします。

9　Internet Explorer（または Safari）を起動します。

ワンポイント

- Windows Vista/XP をお使いの場合は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Windows 2000 をお使いの場合は、[スタート]－[プログラム]－[Internet Explorer]の順にクリックします。
- Mac OS X をお使いの場合は、[Macintosh HD]－[アプリケーション]－[Safari]の順にクリックします。

10　NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）にお住まいの方は、アドレス欄に「v4flets-east.jp」と入力し、<Enter> キーを押します。
NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）にお住まいの方は、アドレス欄に「v4flets-west.jp」と入力し、<Enter> キーを押します。

11　フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトのページが表示されます。

以上で設定は完了です。

ブロードバンド映像サービスの利用設定をする

フレッツ・ドットネット（NTT 東日本）やフレッツ・v6 アプリ（NTT 西日本）を利用する場合は、以下の設定を行ってください。

お知らせ

以下の設定は、本商品をルータ（またはブリッジ）として使用している場合の手順です。
本商品をリピータとして使用している場合は、「拡張」(P121) の画面で Multicast Rate を設定してください。

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[ブロードバンド映像サービスを使う]をクリックします。

3 本商品をルータとして使用している場合は、フレッツ IPv6 サービス対応機能で「使用する」にチェックマークをつけ、使用する無線方式(802.11a または 802.11g)の Multicast Rate を設定して、[設定]をクリックします。
本商品をブリッジとして使用している場合は、使用する無線方式(802.11a または 802.11g)の Multicast Rate を設定して、[設定]をクリックします。

4 [設定完了]をクリックします。

Web Caster W100 NTT
TOP
かんたん設定
ブロードバンド映像サービスを使う
ブロードバンド映像サービスの設定
設定完了
設定が完了しました。設定完了ボタンを押して下さい。
設定完了

以上で設定は完了です。

Windows Live（MSN）メッセンジャーを使う

Windows Live メッセンジャーや MSN メッセンジャーを利用する場合は、以下の設定を行ってください。

お知らせ

本商品をブリッジ/リピータモードでお使いの場合、Windows Live メッセンジャーやMSN メッセンジャーを利用するための設定は、通常、ルータや CTU(加入者網終端装置)側にて行います。それらの機器の取扱説明書を参照し、必要な設定を行ってください。その場合、本商品の設定変更(下記の設定)は必要ありません。

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[Windows Live (MSN) メッセンジャーを使う]をクリックします。

3 UPnP 設定で「使用する」にチェックマークをつけて、[設定]をクリックします。

4 [設定完了]をクリックします。

Web Caster W100
NTT
TOP
かんたん設定
Windows Live (MSN) メッセンジャーを使う
UPnP設定
設定完了
設定を完了しました。
設定を終了する場合は「設定完了」ボタンを押してください。
設定完了
Copyright © 2008 NTT EAST・NTT WEST

以上で設定は完了です。

DHCP サーバ機能（IP アドレス自動割当機能）の設定を変更する

IP アドレスの割り当て台数を変更する場合は、以下の手順で行います。

お知らせ

本商品をブリッジ / リピータモードでお使いの場合、IP アドレスの DHCP サーバ設定は、通常、ルータや CTU（加入者網終端装置）側にて行います。それらの機器の取扱説明書を参照し、必要な設定を行ってください。その場合、本商品の設定変更（下記の設定）は必要ありません。

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[WAN/LAN]をクリックします。

3　[LAN]をクリックします。

4　IP アドレスの割り当て台数を変更し、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

B フレッツ、フレッツ・ADSL で固定 IP サービスを利用する（IP Unnumbered）

本商品は、IP Unnumbered機能に対応しています。IP Unnumbered機能を使用することで、プロバイダから配布された複数のグローバル IP アドレスを本商品に接続した機器で使用できます。ここでは例として、以下の場合の設定例を説明します。

例： プロバイダから「123.45.67.8（サブネットマスク 255.255.255.248）」（固定 IP アドレス 8 個）という IP アドレスが割り当てられた場合

WAN 側アドレス（自動設定）	123.45.67.8（ネットワークアドレス）
LAN 側アドレス（手動設定）	123.45.67.9（ゲートウェイ）
1 台目のパソコン（手動設定）	123.45.67.10（グローバル IP アドレス）
・	
・	
5 台目のパソコン（手動設定）	123.45.67.14（グローバル IP アドレス）
ブロードキャストアドレス	123.45.67.15（ブロードキャストアドレス）
サブネットマスク	255.255.255.248

お知らせ

プロバイダから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

1 「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[WAN/LAN]をクリックします。

3 「IP Unnumbered を使用する」を選択し、[設定]をクリックします。

4 設定が保存されたら､画面の[PPPoE]をクリックします。

5 「PPPoE 接続先リスト」欄にある､[接続先の編集]をクリックします。

6　接続先を登録し、[新規追加]をクリックします。

お知らせ

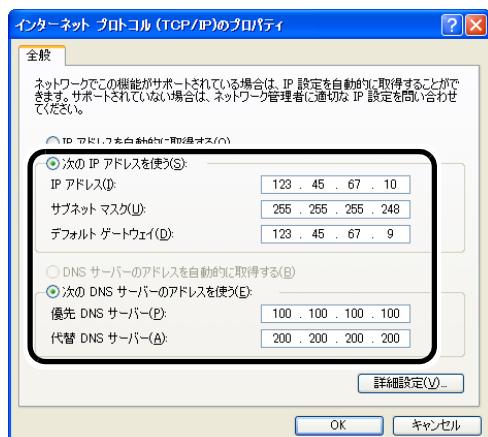
プロバイダから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

7 接続先が登録されたら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

8 「IP Unnumbered 使用時の接続先」を選択して、[設定]をクリックします。

9 設定が保存されたら、画面の[LAN]をクリックします。

10 本商品の LAN 側 IP アドレス（IP Unnumbered 用）の設定をして、[設定]をクリックします。

お知らせ

プロバイダから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

11 [設定]をクリックします。

12 プロバイダから送られてきた資料を参照して、本商品に接続するパソコンの IP アドレスを設定します。

お知らせ

プロバイダから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

以上で設定は完了です。

2 つ以上のプロバイダに同時に接続する

PPPoE マルチセッション機能を使用すると、2 つ以上のプロバイダに同時に接続することができます。ここでは例として、IP アドレスが「192.168.1.100」のパソコンが「プロバイダ２」へ、それ以外のパソコンは、デフォルトの接続先に接続する設定例を説明します。

お知らせ

- UPnP 機能を使用するパソコンは、「デフォルトの接続先」を使用するように設定してください。本商品の UPnP 機能は、「デフォルトの接続先」にのみ有効です。
- DNS アドレスの設定が必要な接続先は、「デフォルトの接続先」に設定してください。本商品では、「デフォルトの接続先」のみ DNS アドレスを手動設定できます。
- PPPoE マルチセッション機能を使用するには、セッション数が 2 つ以上ある回線が必要です。詳しくは、当社 116 にお問い合わせください。

1　「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2　設定画面が表示されたら、[WAN/LAN]をクリックします。

3 [PPPoE]をクリックします。

4 [接続先の編集]をクリックします。

5　接続先を登録し、[新規追加]をクリックします。「接続先名称」は、プロバイダの名称などの分かりやすい名称を半角英数字で入力してください。「接続先ユーザ名」、「接続先パスワード」はプロバイダからの指示に従ってください。

6　接続先が登録されたら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

7　[接続先経路の編集]をクリックします。

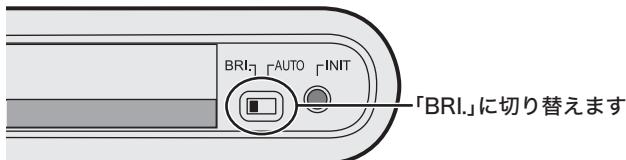
8　接続先経路を以下のように入力し、[新規追加]をクリックします。

接続先　　　　　：手順５で設定した接続先
宛先アドレス　　：（空欄）
送信元アドレス　：192.168.1.100

9 登録した経路が表示されていることを確認し、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

以上で設定は完了です。

ルータ機能を停止する

本商品のルータ機能を停止する場合は、以下の手順で行います。

お知らせ

以下の設定を行うと、本商品のIPアドレスが「192.168.1.201」に変更されます。また、以下の機能が無効になりますのでご注意ください。

- DHCP サーバ(IP アドレス自動割当)機能
- アドレス変換機能
- パケットフィルタ機能
- PPPoE マルチセッション機能
- IP Unnumbered 機能

1 本商品に接続されている AC アダプタのプラグを抜いて、電源を OFF にします。

2 本商品底面のスイッチを「BRI.」に切り替えます。

3 手順 1 で抜いた AC アダプタのプラグを再度本商品に接続します。

4 本商品に接続している機器を再起動します。

以上で設定は完了です。

本商品の LAN 側 IP アドレスを変更する

本商品の LAN 側 IP アドレスは、以下の手順で変更することができます。

お知らせ

- LAN 側 IP アドレスを忘れると、本商品の設定画面にログインできなくなりますので、メモをするなどして控えておいてください。
- LAN 側 IP アドレスを忘れてしまった場合は、設定初期化スイッチ(P27)を押して、設定を初期化してください。(初期化すると、IP アドレス以外の設定も出荷時の設定に戻ります)

1　「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2　設定画面が表示されたら、[WAN/LAN]をクリックします。

3 [LAN]をクリックします。

4 IP アドレスを変更して、[設定]をクリックします。

5 [設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

設定画面のパスワードを設定する

本商品の設定画面にパスワードを設定すると、本商品の管理者だけが設定内容を変更できるようになります。パスワードは、以下の手順で設定することができます。

- パスワードを忘れると、本商品の設定画面にログインできなくなりますので、メモをするなどして控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、設定初期化スイッチ(P27)を押して、設定を初期化してください。(初期化すると、パスワード以外の設定も出荷時の設定に戻ります)

1　「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

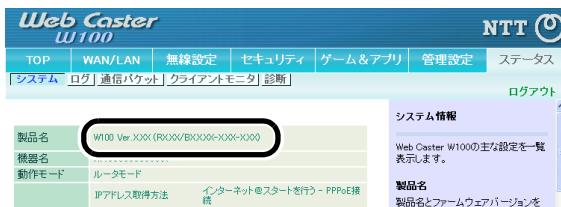
2　設定画面が表示されたら、[管理設定]をクリックします。

3　[パスワード]をクリックします。

4 管理パスワードを入力して、[設定]をクリックします。

5 以下の画面が表示されたら、ユーザー名に「root」（小文字）、パスワードに手順４で設定したパスワードを入力して[OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

本商品のファームウェアバージョンを確認する

本商品のファームウェアのバージョンは、以下の手順で確認することができます。

1　「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2　設定画面が表示されたら、[ステータス]をクリックします。

3　ファームウェアのバージョンを確認します。

ワンポイント

「製品名」欄の「Ver.x.xx」の部分がファームウェアのバージョンです。

以上でバージョンの確認は完了です。

かんたん設定ファイルを作成する

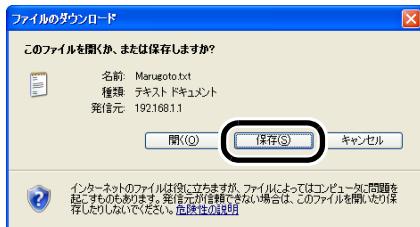
本商品をルータモードおよびブリッジモードでお使いの場合、本商品のSSIDや暗号化の設定を「かんたん設定ファイル」として書き出すことができます。書き出したファイルを、リピータに設定した本商品や本商品以外の当社製品で使用することで、かんたんに接続設定をすることができます。

本商品の暗号化設定にWPA2-PSK（TKIP）やWPA2-PSK（AES）を使用している場合は、かんたん設定ファイルを作成することができません。

1　「設定画面を表示する」(P95) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2　設定画面が表示されたら、[かんたん設定ファイルを作成する]をクリックします。

3　設定を書き出す無線方式（802.11a または 802.11g）を選択します。

4　設定ファイルに拡張情報を含める場合は、「含める」を選択して、IP アドレスの設定方法（IP アドレスを固定する場合は、固定 IP アドレスの値）、装置名を設定して[保存]をクリックします。
拡張情報を含めない場合は、そのまま[保存]をクリックします。

お知らせ

- 拡張情報には、このファイルを使って設定するリピータの IP アドレスと装置名を含めることができます。
- 拡張情報に「含める」を選択した場合、作成したファイルは Web Caster W100 以外の機器では使用できません。

5 [保存]をクリックし、ファイルの保存先を指定して設定ファイルを保存します。

以上で設定は完了です。

困ったときは

無線接続で困ったとき

現象	対処方法
無線機器が本商品とAOSS 接続できない	• 本商品の電源を入れ直してください。 • 本商品と無線機器に LAN ケーブルが接続されているときは、LAN ケーブルを外して無線接続を行ってください。無線接続の方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。 • 無線機器と本商品を近づけてから、AOSS 接続を行ってください。 • 無線機器にセキュリティソフトがインストールされている場合は、一時的にファイアウォール機能を停止するか、アンインストールしてください。セキュリティソフトの設定については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。 •「無線チャンネルを変更する」(P151) を参照して、本商品の無線チャンネルを変更してください。 • 無線子機（Web Caster FT-STC-Ba/g）をお使いの場合は、一度無線子機のドライバを削除し、再度ドライバをインストールしてください。
本商品へ無線接続できない（AOSS 接続を行わない場合）	• 本商品の電源を入れ直してください。 • 本商品と無線機器に LAN ケーブルが接続されているときは、LAN ケーブルを外して無線接続を行ってください。無線接続の方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。 • 無線機器と本商品を近づけてから、無線接続を行ってください。 • 本商品と無線機器で、以下の設定値を同じ設定にしてください。 •SSID •暗号化の種類 •暗号化キー • 無線機器にセキュリティソフトがインストールされている場合は、一時的にファイアウォール機能を停止するか、アンインストールしてください。セキュリティソフトの設定については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。 •「無線チャンネルを変更する」(P151) を参照して、本商品の無線チャンネルを変更してください。 • 無線子機（Web Caster FT-STC-Ba/g）をお使いの場合は、一度無線子機のドライバを削除し、再度ドライバをインストールしてください。

現象	対処方法
AOSS 設定後に「IP アドレスの競合が検出されました」と表示される	AOSS 設定後に「IP アドレスの競合が検出されました」と表示される場合は、パソコンを再起動してください。

本商品の設定画面が表示できなくて困ったとき

現象	対処方法
本商品の設定画面にログインできない	設定画面にログインするためのユーザー名やパスワードが正しいか確認してください。出荷時設定でお使いの場合、ユーザー名は「root」、パスワードは未設定です。 パスワードを忘れてしまった場合は、設定初期化スイッチ（P27）を３秒以上押して、設定を初期化してください。 （初期化すると、パスワード以外の設定も出荷時設定に戻ります） • Internet Explorer（または Safari）のアドレス欄に本商品の IP アドレスを正しく入力してください。 • Internet Explorer（または Safari）がプロキシを使用しない設定になっているか確認してください。 • 設定を行う機器と本商品を正しく接続してください。 無線で接続する場合は、お使いの機器の取扱説明書を参照して正しく無線接続されているか確認してください。 LAN ケーブルで接続する場合は、LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • 設定を行う機器の IP アドレスが正しく設定されているかを確認してください。

その他の設定で困ったとき

現象	対処方法
POWER ランプが点灯しない	AC アダプタが正しく接続されているか確認してください。また、AC アダプタがコンセントに確実に接続されているか確認してください。
LAN ランプや WAN ランプが点灯 / 点滅しない	本商品と接続機器に LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

現象	対処方法
WIRELESS ランプが点灯 / 点滅しない	本商品の無線機能が無効になっている場合は、WIRELESS ランプは点灯 / 点滅しません。本商品の設定画面にて、無線機能を有効にしてください。
BRIDGE ランプが点灯しない	BRIDGE ランプは、本商品をブリッジモードでお使いの場合、およびリピータモード時で本商品が無線親機と接続している場合に点灯します。(ルータモード時は点灯しません)
AOSS ランプが連続点滅する	AOSS 接続に失敗すると、AOSS ランプが連続点滅します。 その場合は、再度 AOSS ボタンを約 3 秒間押し続けると、AOSS 設定を行うことができます。
DIAG ランプが点滅する	DIAG ランプは、点滅回数によって本商品の状態を示します。詳細は、「各部の名称とはたらき」(P24) を参照してください。 なお、DIAG ランプは、本商品の電源投入時やファームウェアの更新時にもしばらく点灯 / 点滅します。電源投入後、５分以上たっても点滅が続く場合は、いったん AC アダプタを抜いて、しばらくしてから再度差し込んでください。再び DIAG ランプが点滅する場合は、故障受付(本書裏表紙参照)にご連絡ください。
本商品に設定したパスワードを忘れてしまった	設定初期化スイッチ(P27)を３秒以上押して、設定を初期化してください。 (初期化すると、パスワード以外の設定も出荷時設定に戻ります)
本商品に設定されている暗号の種類や暗号化キーが分からない	本商品に AOSS 設定がされている場合は、本商品の設定画面より暗号の種類と暗号化キーを確認することができます。確認方法は、「AOSS 接続で設定した暗号を確認する」(P145) を参照してください。 ただし、AOSS を使用せずに手動で暗号化の設定を行った場合は、暗号の種類や暗号化キーは、確認することはできません。 設定初期化スイッチ(P27)を３秒以上押して、設定を初期化した後、再設定を行ってください。
本商品の出荷時設定を知りたい	本商品のおもな出荷時設定は、本商品側面のラベル(P27)で確認することができます。 また、すべての出荷時設定については、「初期設定一覧」(P210) を参照してください。

付録

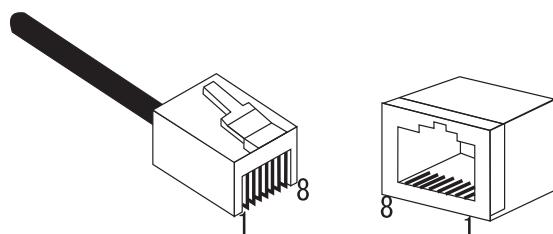
製品仕様

無線 LAN インター フェース部	準拠規格	無線 LAN 標準プロトコル IEEE802.11a / IEEE802.11g / IEEE802.11b ARIB STD-T71 （IEEE802.11a） ARIB STD-T66 （IEEE802.11g/IEEE802.11b） （小電力データ通信システム規格）
	伝送方式	直交周波数分割多重変調（OFDM）方式 単信（半二重） （IEEE802.11a/IEEE802.11g） 直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS）方式 単信（半二重） （IEEE802.11b）
	データ転送速度 （オートセンス）	**IEEE802.11a** 6/9/12/18/24/36/48/54Mbps **IEEE802.11g** 6/9/12/18/24/36/48/54Mbps **IEEE802.11b** 1/2/5.5/11Mbps
	アクセス方式	インフラストラクチャモード、WDS モード
	周波数範囲 （中心周波数）	**IEEE802.11a** 5180 ～ 5320MHz 36/40/44/48/52/56/60/64ch **IEEE802.11g/IEEE802.11b** 2412 ～ 2472MHz 1 ～ 13ch ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が 2.4GHz 帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
	セキュリティ	AOSS、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(TKIP/AES)、WEP（128/64bit)、プライバシーセパレータ、ANY 接続拒否 /SSID ステルス機能、MAC アクセス制限機能、設定画面パスワード、無線送信出力制限
有線 LAN インター フェース部	準拠規格	IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3（10BASE-T）
	データ転送速度	10/100Mbps（自動認識）
	データ伝送 モード	半二重 / 全二重（自動認識）
	ポート	100BASE-TX/10BASE-T 兼用ポート X4（AUTO-MDIX）
WAN インター フェース部	準拠規格	IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3（10BASE-T）
	データ転送速度	10/100Mbps（自動認識）
	データ伝送 モード	半二重 / 全二重（自動認識）
	ポート	100BASE-TX/10BASE-T 兼用ポート X1（AUTO-MDIX）

使用電源	AC100V ± 10%　50/60Hz
消費電力	最大 7.5W
動作温度 / 動作湿度	5 〜 40 ℃ /10 〜 85%（結露なきこと）
重量	260g（アンテナとスタンド含まず）
外形寸法	28（W）X 130（H）X 144（D）mm （アンテナとスタンド含まず）

ケーブル仕様

ケーブルタイプと仕様			
ケーブル	タイプ	最大長	コネクタ
10BASE-T	カテゴリ 3、4、5 UTP/STP	100m	RJ-45
100BASE-TX	カテゴリ 5 UTP/STP	100m	RJ-45

ツイストペアケーブルとポート仕様

LANポートに、電話のモジュラケーブルを差し込まないでください。電話のモジュラケーブルを差し込むと、故障の原因となります。必ず、RJ-45 コネクタを装備し、規格に適合しているツイストペアケーブルを使用してください。

100BASE-TX/10BASE-T 接続の場合、2 対ツイストペアケーブルが必要です。2 種類の色でそれぞれのワイヤペアを識別します。たとえば、一方を赤、もう一方を白のストライプが入った赤にするなどです。さらに、ケーブルの両端に RJ-45 コネクタが必要です。

お知らせ

ワイヤペアを決まった向きで RJ-45 コネクタに接続する必要があります。

LAN ポート仕様

100BASE-TX/10BASE-T で使用されているケーブルでは、1 番ピンと 2 番ピンをデータ送信に使用し、3 番ピンと 6 番ピンをデータ受信に使用します。
本商品は全ポートで AUTO-MDIX に対応していますので、パソコンやハブとのあらゆるネットワーク接続にストレートケーブルを使用できます。
次の表に、100BASE-TX/10BASE-T MDI ポートと MDI-X ポートのピン割り当てを示します。

ピン番号	MDIX/MDI 信号	信号機能（MDI/MDIX）
1	RD+/TD+	受信データ(+)／送信データ(+)
2	RD-/TD-	受信データ(-)／送信データ(-)
3	TD+/RD+	送信データ(+)／受信データ(+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	TD-/RD-	送信データ(-)／受信データ(-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

※ ＋とーは、各ワイヤペアを構成するワイヤの極性を表します。

初期設定一覧

機能	パラメータ	出荷時設定
WAN （ルータモード時のみ）	IP アドレス取得方法	インターネット@スタートを行う
	デフォルトゲートウェイ	なし
	DNS（ネーム）サーバアドレス	なし
	WAN 側 MAC アドレス	デフォルトの MAC アドレスを使用
	WAN 側 MTU 値	1500 バイト
PPPoE （ルータモード時のみ）	デフォルトの接続先	なし
	IP Unnumbered 使用時の接続先	なし
	PPPoE 接続先リスト	なし
	接続先経路の表示	なし

<table>
<tr><th>機能</th><th>パラメータ</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td rowspan="12">LAN</td><td>LAN 側 IP アドレス</td><td>ルータモード時：
192.168.1.1（255.255.255.0）
ブリッジモード時：
192.168.1.201（255.255.255.0）
リピータモード時：
192.168.1.202（255.255.255.0）</td></tr>
<tr><td>DHCP サーバ機能
（ルータモード時のみ）</td><td>使用する</td></tr>
<tr><td>割り当て IP アドレス
（ルータモード時のみ）</td><td>192.168.1.2 から 64 台</td></tr>
<tr><td>LAN 側 IP アドレス
（IP Unnumbered 用）
（ルータモード時のみ）</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>リース期間
（ルータモード時のみ）</td><td>48 時間</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイの通知（ルータモード時のみ）</td><td>Web Caster W100 の
LAN 側 IP アドレス</td></tr>
<tr><td>DNS サーバの通知
（ルータモード時のみ）</td><td>Web Caster W100 の
LAN 側 IP アドレス</td></tr>
<tr><td>WINS サーバの通知
（ルータモード時のみ）</td><td>通知しない</td></tr>
<tr><td>ドメイン名の通知
（ルータモード時のみ）</td><td>取得済みのドメイン名</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ（ブリッジ / リピータモード時のみ）</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>DNS（ネーム）サーバアドレス（ブリッジ / リピータモード時のみ）</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2" style="display:none"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">アドレス変換
（ルータモード時のみ）</td><td>アドレス変換</td><td>使用する</td></tr>
<tr><td>破棄パケットのログ表示</td><td>出力しない</td></tr>
<tr><td>経路情報</td><td>経路情報</td><td>なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">RIP</td><td>WAN 側 RIP 送信
（ルータモード時のみ）</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>WAN 側 RIP 受信
（ルータモード時のみ）</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>LAN 側 RIP 送信
（ルータモード時のみ）</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>LAN 側 RIP 受信</td><td>RIP1 と RIP2 両方</td></tr>
<tr><td>AOSS</td><td>本体側 AOSS ボタン</td><td>使用する</td></tr>
</table>

機能	パラメータ	出荷時設定
基本 (ルータ / ブリッジモード時のみ)	無線機能	使用する
	SSID	Web Caster W100 の MAC アドレスを設定
	無線チャンネル	自動
	ANY 接続	許可する
アクセスポイント側 (リピータモード時のみ)	SSID	なし
	MAC アドレス	なし
	11a/11g 選択	11a のみ
	無線の認証	認証を行わない
	無線の暗号化	暗号化なし
パソコン側 (リピータモード時のみ)	無線機能	アクセスポイント側の設定を 利用する
セキュリティ	無線の認証	認証を行わない
	無線の暗号化	暗号化なし
拡張	無線チャンネル (リピータモード時のみ)	自動
	BSS BasicRateSet	11a：6,12,24Mbps 11g：1,2,5.5,11Mbps
	Multicast Rate	自動
	フレームバースト	使用しない
	802.11g プロテクション (11g のみ)	使用する
	DTIM Period	1
	プライバシーセパレータ	使用しない
	送信出力	100%
	ANY 接続 (リピータモード時のみ)	許可する

機能	パラメータ	出荷時設定		
WMM	WMM	B フレッツ / フレッツ・光プレミアム用パラメータ		
	WMM-EDCA パラメータ（優先度 AC_BK（低い））		AP 用	STA 用
		CWmin	15	15
		CWmax	1023	1023
		AIFSN	7	7
		TXOP Limit	0	0
		Admission Control	-----	無効
	WMM-EDCA パラメータ（優先度 AC_BE（普通））		AP 用	STA 用
		CWmin	15	15
		CWmax	63	1023
		AIFSN	3	3
		TXOP Limit	0	0
		Admission Control	-----	無効
	WMM-EDCA パラメータ（優先度 AC_VI（優先））		AP 用	STA 用
		CWmin	7	7
		CWmax	15	15
		AIFSN	1	2
		TXOP Limit	94	94
		Admission Control	-----	無効
	WMM-EDCA パラメータ（優先度 AC_VO（最優先））		AP 用	STA 用
		CWmin	3	3
		CWmax	7	7
		AIFSN	1	2
		TXOP Limit	47	47
		Admission Control	-----	無効
MAC アクセス制限	無線パソコンの接続	制限しない		
	登録リスト	なし		
ファイアウォール（ルータモード時のみ）	ログ出力	使用しない		
	簡易ルール	「IDENT の要求を拒否する」と「WAN 側からの PING に応答しない」が有効		
IP フィルタ（ルータモード時のみ）	ログ出力	使用しない		
	IP フィルタ登録情報	なし		

機能	パラメータ	出荷時設定
IPv6/PPPoE ブリッジ・VPN パススルー（ルータモード時のみ）	フレッツ IPv6 サービス対応機能（IPv6 ブリッジ）	使用する
	PPPoE ブリッジ機能	使用しない
	IPsec パススルー	使用しない
	PPTP パススルー	使用しない
ポート変換（ルータモード時のみ）	ポート変換登録情報	なし
DMZ（ルータモード時のみ）	DMZ のアドレス	なし
UPnP（ルータモード時のみ）	UPnP 機能	使用する
本体	機器名	AP + 本商品の LAN 側 MAC アドレス
パスワード	管理ユーザ名	root（変更不可）
	管理パスワード	なし
時刻	日付	2008 年 1 月 1 日
	時刻	0 時 00 分 00 秒
	タイムゾーン	（GMT+09:00）東京、大阪、ソウル
NTP	NTP 機能	使用しない
	サーバ名	なし
	確認時間	24 時間毎
アクセス	ログ出力	使用しない
	制限項目	すべて無効

機能	パラメータ	出荷時設定
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	syslog サーバ	空欄
	転送するログの種類	**ルータモード時：** アドレス変換、IP フィルタ、ファイヤウォール、PPPoE クライアント、DHCP クライアント、DHCP サーバ、AOSS、無線クライアント、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク **ブリッジモード時：** IP フィルタ、DHCP クライアント、AOSS、無線クライアント、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク **リピータモード時：** IP フィルタ、DHCP クライアント、AOSS、無線クライアント、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク

用語集

AES
IEEE802.11i で策定されている次世代暗号化方式です。「WEP」脆弱性の原因は、採用している暗号方式（RC4 暗号）自体に解読手法が存在するためです。「TKIP」にて脆弱性の改善はされていますが、暗号方式自体を抜本的に見直したものが「AES」です。

DHCP サーバ
DHCP サーバはネットワークに関連した情報（IP アドレス、ルータの IP アドレス、ドメイン名など）を管理します。DHCPクライアントが起動すると、自動的にIPアドレスなどの情報を割り振ります。DHCP サーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや無線親機に、IP アドレスなどを手動で設定する必要がなくなります。

DNS
コンピュータ名やドメイン名を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステムです。

IP Unnumbered
他のネットワークに接続するルータの WAN 側ポートに IP アドレスを割り当てず、PPPoE で接続されているプロバイダ側のルータと端末側（宅内）のルータを見かけ上 1 台のルータのように扱う接続方式です。IP Unnumbered機能を使用することで、プロバイダから配布された複数のグローバルIPアドレスを本商品に接続した各パソコンで使用できます。

IP マスカレード
NAT を拡張させた機能で、データの接続元 / 接続先アドレスに加えて、ポート番号を使ってアドレス変換をします。この機能により、複数のパソコンが異なるポートを用いて同時にインターネットを利用することができます。

MAC アドレス
ネットワーク機器ごとの固有の物理アドレスです。先頭からの 3bytes のベンダコード（メーカーの ID）と、残り 3bytes のユーザコードの 6bytes で構成されます。Ethernet ではこのアドレスを元にフレームの送受信を行います。

NAT
LAN 内で使用されるプライベート IP アドレスとインターネットで使用されるグローバル IP アドレスを、1 対 1 で変換する機能です。各パソコンに設定されているプライベート IP アドレスは自動的にグローバル IP アドレスに変換され、インターネットに接続できるようになります。

RIP1
ルータ間で経路情報を交換するプロトコルです。このやりとりで得た情報をもとにルータはパケットを正しい相手へ送出します。

RIP2
RIP1 に比べ、認証パスワード、サブネットマスクの指定、マルチキャストアドレッシングなどの機能が拡張されています。

SSID
無線機器と無線親機の通信時に混線しないために設定する ID です。無線機器が無線親機と通信するときは、同一の SSID を設定します。

TKIP
無線のデータ暗号化方式である WPA に用いられている暗号化プロトコルです。従来の暗号化方式である「WEP」にあった同じ暗号化キーを使いつづけるため発生する脆弱性を克服するため、キーを自動的に変更し、暗号化を行うように改良された暗号化プロトコルが「TKIP」です。定期的に使用する暗号化キーを変更するため、キーの解析が困難となり、より強固なセキュリティを持った無線 LAN を構築することが可能です。

WEP
無線 LAN の規格である 802.11 に追加されたデータを暗号化する機能です。WEP(暗号化)キーに 64 ビット長のデータを使う方式と 128 ビット長のデータを使う方式の２つがあります。この WEP(暗号化)キーを元に送受信データを暗号化します。万一、第三者に電波を傍受されても、暗号化されたデータの解読は困難です。ビット数の値が大きいほど(64bit ＜ 128bit)暗号が複雑化し、セキュリティ度が向上します。無線親機に WEP 設定を行なうと、同じ WEP キーを設定した無線機器からしか接続ができなくなります。

WPA
無線 LAN の暗号化方式のひとつで、従来採用されてきた WEP の弱点を補強し、セキュリティ強度を向上させたものです。従来の SSID と WEP キーのセキュリティに加え、Pre-Sheared Key(PSK)や、PPP Extensible Authentication Protocol(EAP)などを用いて認証を行い、無線親機から配布される暗号化キーで接続させます。また、認証によって配布された暗号化キーを一定時間で自動更新することで、安全性を向上させています。暗号化についても「TKIP」と呼ばれる暗号プロトコルを採用するなど改善が加えられています。

WPA2
WPA が、セキュリティ標準規格「IEEE802.11i」に採用予定であった暗号化の一部から作成さているのに対して、WPA2 では正式に策定された「IEEE802.11i」に基づいて作成されています。従来の WPA では、暗号プロトコルに「TKIP」を採用していましたが、より強力な暗号化技術である「AES」をサポートすることでセキュリティ強度を従来より向上させています。

グローバル IP アドレス
インターネットに直接接続でき、インターネット上では重複しない IP アドレスです。

ゲートウェイ
ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェアです。パケットが LAN の外に出て行くときに通過します。

サブネットマスク
IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値です。ルータがパケットを送受信するために用いられます。

静的 IP マスカレード
IP マスカレード を拡張させた機能です。ユーザが変換テーブルを指定することで、特定の外部からのデータが通過できます。セキュリティを保持しながら、ネットゲームや再生型アプリケーションなどが使用可能になります。

ドメイン名
インターネットに接続するコンピュータは IP アドレスと呼ばれる数字を使って識別されていますが、ドメイン名は数字よりも簡単に覚えられるようにと考えられた文字で表現された名前です。

パケット
ネットワーク上を流れるデータの単位です。ヘッダ（宛先アドレスや送信元アドレス）と情報データ（実データ）から構成されます。

パケットフィルタリング
通信セキュリティ機能の一つで、パケットの宛先アドレスや送信元アドレスを読み取り、ユーザが設定したルールに従ってパケットの通過・遮断を判断します。

プライベート IP アドレス
インターネットに直接接続せず、閉じたネットワーク内同士であれば、重複して自由に使用することができる IP アドレスです。プライベート IP アドレスには、次のような種類があります。

クラス A　：10.xxx.xxx.xxx/255.0.0.0
クラス B　：172.16.0.0 〜 172.31.255.255/255.255.0.0
クラス C　：192.168.xxx.xxx/255.255.255.0

メトリック
宛先ネットワークとの距離を表すパラメータ（計測単位）を示す一般用語です。あるネットワークにたどり着くのに複数の経路がある場合、ルータはメトリックが小さい経路の方が近いと判断し、そちらの方にパケットを転送します。

ルーティングテーブル
ルータが保持するパケットの配送先に関する経路情報一覧です。

保守サービスのご案内

保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載に基づき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは、「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

定額保守サービス	**毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。**
実費保守サービス	**・修理に要した費用をいただきます。（修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご了承ください。）**
	・当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用は不要となります。

設定内容一覧表

お客様が本商品に対して設定した内容をご記入ください。

機能	パラメータ	設定値
WAN （ルータモード時のみ）	IP アドレス取得方法	
	デフォルトゲートウェイ	
	DNS（ネーム）サーバアドレス	
	WAN 側 MAC アドレス	
	WAN 側 MTU 値	

機能	パラメータ	設定値
PPPoE （ルータモード時のみ）	デフォルトの接続先	
	IP Unnumbered 使用時の接続先	
	PPPoE 接続先リスト	
	接続先経路の表示	
LAN	LAN 側 IP アドレス	
	DHCP サーバ機能 （ルータモード時のみ）	
	割り当て IP アドレス （ルータモード時のみ）	
	LAN 側 IP アドレス （IP Unnumbered 用） （ルータモード時のみ）	
	リース期間 （ルータモード時のみ）	
	デフォルトゲートウェイの通知（ルータモード時のみ）	
	DNS サーバの通知 （ルータモード時のみ）	
	WINS サーバの通知 （ルータモード時のみ）	
	ドメイン名の通知 （ルータモード時のみ）	
	デフォルトゲートウェイ（ブリッジ / リピータモード時のみ）	
	DNS（ネーム）サーバアドレス（ブリッジ / リピータモード時のみ）	
アドレス変換 （ルータモード時のみ）	アドレス変換	
	破棄パケットのログ表示	
経路情報	経路情報	
RIP	WAN 側 RIP 送信 （ルータモード時のみ）	
	WAN 側 RIP 受信 （ルータモード時のみ）	
	LAN 側 RIP 送信 （ルータモード時のみ）	
	LAN 側 RIP 受信	

機能	パラメータ	設定値
AOSS	本体側 AOSS ボタン	
基本 (ルータ / ブリッジモード時のみ)	無線機能	
	SSID	
	無線チャンネル	
	ANY 接続	
アクセスポイント側 (リピータモード時のみ)	SSID	
	MAC アドレス	
	11a/11g 選択	
	無線の認証	
	無線の暗号化	
パソコン側 (リピータモード時のみ)	無線機能	
セキュリティ	無線の認証	
	無線の暗号化	
拡張	無線チャンネル (リピータモード時のみ)	
	BSS BasicRateSet	
	Multicast Rate	
	フレームバースト	
	802.11g プロテクション (11g のみ)	
	DTIM Period	
	プライバシーセパレータ	
	送信出力	
	ANY 接続 (リピータモード時のみ)	

機能	パラメータ	設定値		
WMM	WMM			
	WMM-EDCA パラメータ（優先度 AC_BK（低い））		AP 用	STA 用
		CWmin		
		CWmax		
		AIFSN		
		TXOP Limit		
		Admission Control	-----	
	WMM-EDCA パラメータ（優先度 AC_BE（普通））		AP 用	STA 用
		CWmin		
		CWmax		
		AIFSN		
		TXOP Limit		
		Admission Control	-----	
	WMM-EDCA パラメータ（優先度 AC_VI（優先））		AP 用	STA 用
		CWmin		
		CWmax		
		AIFSN		
		TXOP Limit		
		Admission Control	-----	
	WMM-EDCA パラメータ（優先度 AC_VO（最優先））		AP 用	STA 用
		CWmin		
		CWmax		
		AIFSN		
		TXOP Limit		
		Admission Control	-----	
MAC アクセス制限	無線パソコンの接続			
	登録リスト			
ファイアウォール（ルータモード時のみ）	ログ出力			
	簡易ルール			
IP フィルタ（ルータモード時のみ）	ログ出力			
	IP フィルタ登録情報			

機能	パラメータ	設定値
IPv6/PPPoE ブリッジ・VPN パススルー（ルータモード時のみ）	フレッツ IPv6 サービス対応機能（IPv6 ブリッジ）	
	PPPoE ブリッジ機能	
	IPsec パススルー	
	PPTP パススルー	
ポート変換（ルータモード時のみ）	ポート変換登録情報	
DMZ（ルータモード時のみ）	DMZ のアドレス	
UPnP（ルータモード時のみ）	UPnP 機能	
本体	機器名	
パスワード	管理ユーザ名	
	管理パスワード	
時刻	日付	
	時刻	
	タイムゾーン	
NTP	NTP 機能	
	サーバ名	
	確認時間	
アクセス	ログ出力	
	制限項目	
ログ	ログ情報転送機能	
	syslog サーバ	
	転送するログの種類	

索引

数字

アルファベット

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

この取扱説明書は森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことを推奨します。

当社ホームページ：
［NTT東日本］http://web116.jp/ced/
［NTT西日本］http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。
■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様
●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ
お問い合わせ先：フリーアクセス **0120-970413**（9:00～21:00）
携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合
03-5667-7100（通話料金がかかります）
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。
●故障に関するお問い合わせ
お問い合わせ先：フリーダイヤル **0120-242751**（24時間　年中無休※）
※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。
※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様
●本商品の取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ
□お問い合わせ先：フリーダイヤル **0120-248995**
（携帯電話・PHSからも利用可能です。）

□受付時間
・本商品のお取扱いに関するお問合せ：
9:00～21:00（年末年始12月29日～1月3日を除く）
・故障に関するお問合せ：　24時間（年中無休）※
※故障修理対応時間は9:00～17:00です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本2970-2 (2009.5)
WBCW100トリセツ
35010349 ver.02